

**平成30年度**

# **保健活動のまとめ**

**大口町保健センター**

## 大口町健康の町宣言

健康は、まちの財産であり、しあわせの源であります。

心身ともに健康であることは、町民すべての願いであり、活力あるまちづくりのうえで、最も大切なことでもあります。

私たち大口町民は、一人ひとりが健康でしあわせな、明るい活力ある大口町を築くため、ここに「健康の町」を宣言します。

- 1 スポーツやレクリエーションをとおして、健康なところとからだをつくります。
- 2 町民一人ひとりが調和のある、健康で豊かな家庭をつくります。
- 3 健康づくりを地域にひろめ、健康で豊かなまちをつくります。

# 目 次

## 1 大口町の概要

1	町の位置及び紹介	1
2	大口町医療機関等分布図	2
3	人口	2
4	人口動態統計年次推移	5
5	選択死因別死亡数・(人口10万対)年次推移	5
6	大口町機構図	6
7	保健センターの概要	7
8	保健活動の変遷	9

## 2 母子保健活動

1	母子保健事業の取り組み・母子保健管理体系	15
2	一般不妊治療費助成事業	16
3	母子健康手帳の交付	16
4	妊産婦乳児健康診査	17
5	家庭訪問	17
6	母親教室	18
7	すくすく子育てサロン	18
8	フレッシュママの会	18
9	子育て相談室	19
10	乳幼児健康診査	20
11	離乳食教室	22
12	たんぽぽ教室	23
13	子育て支援・他機関との連携	24

## 3 成人保健活動

1	成人保健の取り組み・成人保健管理体系	26
2	健康手帳の交付	27
3	特定健診・特定保健指導	28
4	がん検診	33
5	わかば健康診査	39
6	肝炎ウイルス検診	40
7	ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査	41
8	骨密度測定	42
9	健康教育	43
10	健康相談	46
11	家庭訪問	47

## 4 歯科保健活動

1	歯科保健事業の取り組み・歯科保健管理体系……	48
2	幼児期歯科健康診査……	49
3	妊婦歯科健康診査……	50
4	歯周病予防健康診査……	51
5	歯周病相談……	52
6	8020・9018運動 歯の健康コンクール……	53
7	歯と口の健康週間（歯の健康センター）……	53
8	歯の健康づくり得点……	54

## 5 健康推進事業

1	健康推進員活動……	55
2	健康おおぐち21第二次計画の推進……	63

## 6 感染症予防事業

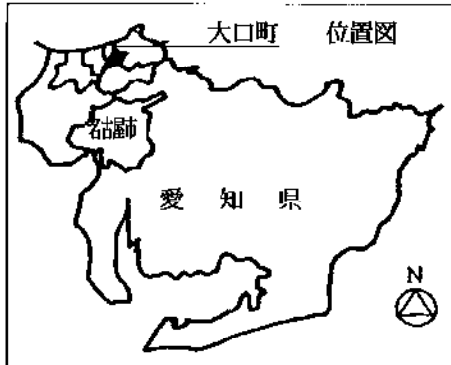
1	予防接種……	73
2	新型インフルエンザ等……	77

## 7 その他

1	学生実習指導……	78
2	地域包括ケアシステムの推進……	79

# 1 大口町の概要

# 1 町の位置及び紹介



町章

大口町は、愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置しています。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積13.61平方キロメートルです。北は扶桑町、北東は犬山市、北西から西は江南市、南から南東は小牧市に接しています。

名古屋市より直線距離にしてわずか18キロメートルの近郊地域に位置していますが、五条川をはじめとした恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境を有する住宅地としての魅力が高まっています。

町中央部を国道41号線が南北に走るとともに、周辺には東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、名古屋都市高速道路がネットワークを形成しています。

## 2 大口町医療機関等分布図



## 3 人口

(1) 行政区別世帯数 (単位: 世帯)

地区	区分	世帯
秋田		848
豊田		704
大屋敷		606
外坪		260
河北		600
余野		2,211
上小口		811
中小口		900
下小口		1,716
垣田		371
さつきヶ丘		346
合計		9,373

(2) 行政区別人口

(単位: 人)

地区	区分	人口		
		男	女	総数
秋田		1,190	1,146	2,336
豊田		974	928	1,902
大屋敷		789	779	1,568
外坪		379	373	752
河北		842	900	1,742
余野		2,887	2,757	5,644
上小口		1,112	1,021	2,133
中小口		1,209	1,172	2,381
下小口		2,144	1,857	4,001
垣田		328	455	783
さつきヶ丘		406	419	825
合計		12,260	11,807	24,067

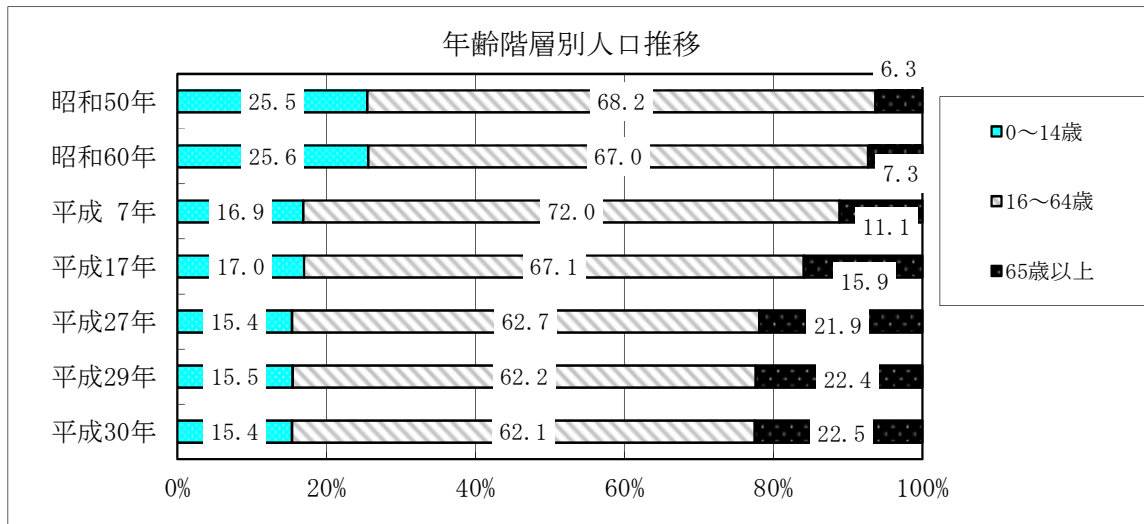
平成30年9月30日現在 指定区別年齢別男女別人口調 (提供: 戸籍保険課) による

(3) 年齢階層別人口の推移

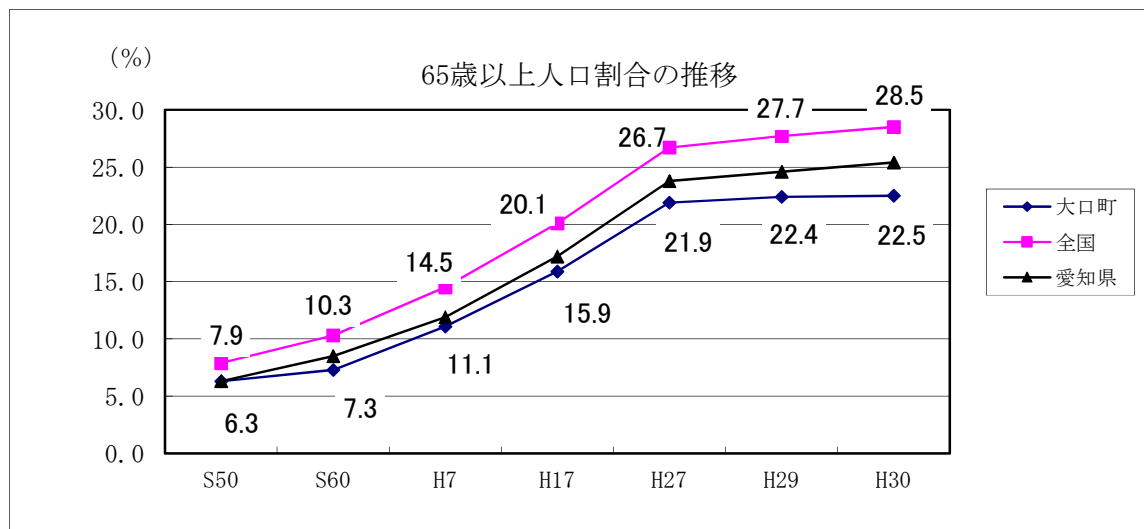
(単位 上段：人 下段：%)

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成27年	平成29年	平成30年
総人口		15,894	16,195	19,031	21,261	23,348	23,886	24,067
年齢階層区分	0～14歳人口	4,052	4,153	3,223	3,616	3,594	3,693	3,716
	比率	25.5	25.6	16.9	17.0	15.4	15.5	15.4
	15～64歳人口	10,840	10,852	13,702	14,257	14,645	14,854	14,940
	比率	68.2	67.0	72.0	67.1	62.7	62.2	62.1
	65歳以上人口	1,002	1,190	2,106	3,388	5,109	5,339	5,411
	比率	6.3	7.3	11.1	15.9	21.9	22.4	22.5
	40歳以上人口	4,466	5,216	8,648	10,189	12,479	12,884	13,041
	比率	28.1	32.2	45.4	47.9	53.4	53.9	54.2
75歳以上	308	421	873	1,364	2,178	2,486	2,613	
比率	1.9	2.6	4.6	6.4	9.3	10.4	10.9	
全国	65歳以上人口比率	7.9	10.3	14.5	20.1	26.7	27.7	28.5
愛知県	65歳以上人口比率	6.3	8.5	11.9	17.2	23.8	24.6	25.4

資料：全国・愛知県は、総務省統計局発表のもの。各年、10月1日の人口に基づく。



※端数処理により100%にならない年があります。





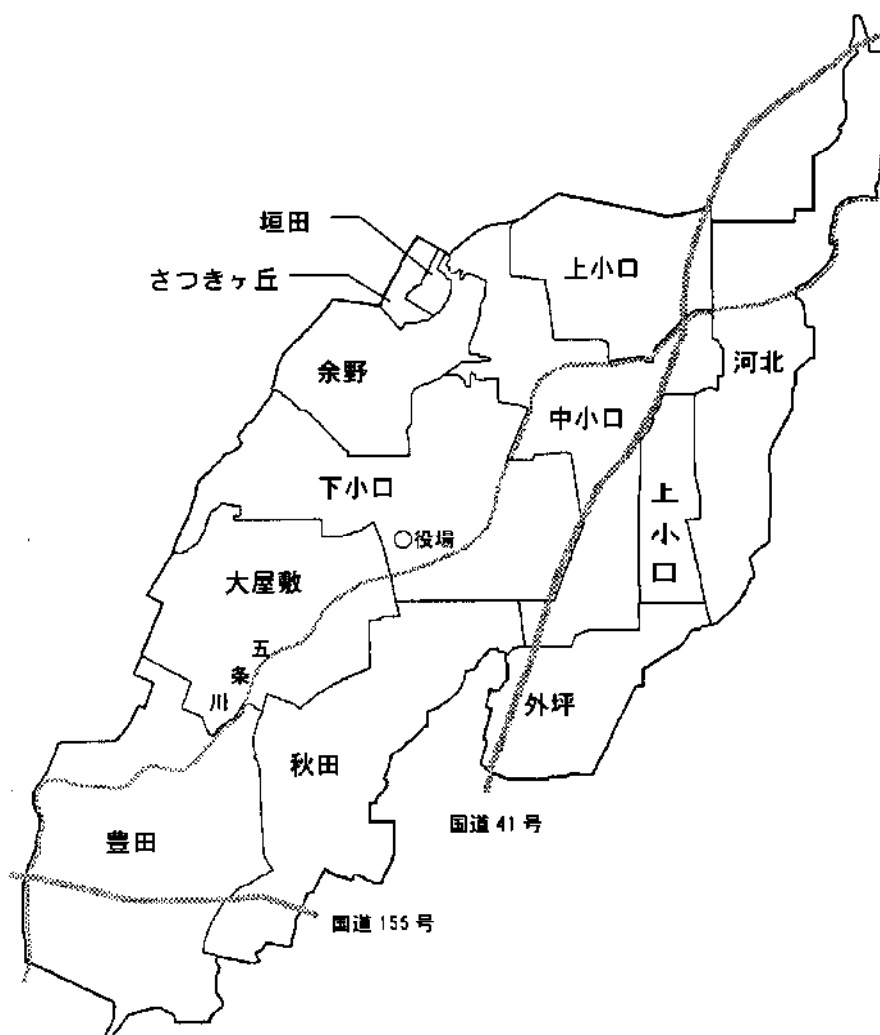
(4) 地区別高齢化率

(単位：人)

地 区	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野
人 口	2,336	1,902	1,568	752	1,742	5,644
65歳以上人口	560	550	474	249	389	827
比 率 (%)	24.0	28.9	30.2	33.1	22.3	14.7
地 区	上小口	中小口	下小口	垣田	さつきヶ丘	合計
人 口	2,133	2,381	4,001	783	825	24,067
65歳以上人口	435	510	906	228	283	5,411
比 率 (%)	20.4	21.4	22.6	29.1	34.3	22.5

平成30年9月30日現在 指定区別年齢別男女別人口調 (提供：戸籍保険課) による

〈行政区域図〉



#### 4 人口動態統計年次推移

(単位：人 率：1,000対)

年	種別	人口	出生				死亡				自然増減		乳児死亡(再掲)				新生児死亡		周産期死亡		死産		婚姻		離婚			
			総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成	2	17,464	156	82	74	8.9	85	52	33	4.8	82	4.7	-	-	-	-	(データなし)	3	3.0	7	42.9	124	7.1	17	0.97			
	7	19,027	213	106	107	11.2	119	70	49	6.3	94	4.9	1	1	-	4.7	(データなし)	2	9.4	5	22.9	132	6.9	33	1.73			
	12	20,663	271	135	136	13.1	139	65	74	6.7	132	6.4	-	-	-	-	-	-	-	9	32.1	167	8.1	37	1.80			
	17	21,602	229	123	106	10.7	157	83	74	7.4	73	3.3	1	1	-	4.4	-	-	-	9	37.8	139	6.5	44	2.04			
	22	22,199	234	123	111	10.5	170	99	71	7.7	72	3.3	-	-	-	-	-	-	-	4	17.1	125	5.6	41	1.85			
	27	23,274	229	111	118	9.8	184	96	88	7.9	45	1.9	-	-	-	-	-	-	2	8.7	6	25.5	128	5.5	36	1.55		
	28	23,576	233	127	106	9.9	186	88	98	7.9	47	2.0	-	-	-	-	-	-	1	4.3	4	16.9	121	5.1	41	1.74		
	29	23,817	251	137	114	10.5	192	88	104	8.1	59	2.5	-	-	-	-	-	-	-	2	7.9	131	5.5	44	1.85			
愛知県	H29	7,328,000	62,436	31,994	30,442	8.5	67,177	35,929	31,248	9.2	△ 4,741	△ 0.6	98	46	52	1.6	43	0.7	199	3.2	1,172	18.4	40,072	5.5	12,471	1.70		
全国	H29	124,648,471	946,065	484,449	461,616	7.6	1,340,397	690,683	649,714	10.8	△ 394,332	△ 3.2	1,761	929	832	1.9	832	0.9	3,308	3.5	20,358	21.1	606,866	4.9	212,262	1.70		

※人口は、大口町が愛知県県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計課推計の日本人口で各年10月1日現在である。

※愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より

<率算出式>

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生} + \text{死亡} + \text{自然増加} + \text{婚姻} + \text{離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡} + \text{新生児死亡}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

5

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数} + \text{早期新生児死亡数}}{\text{出生数} + \text{妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

#### 5 選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移

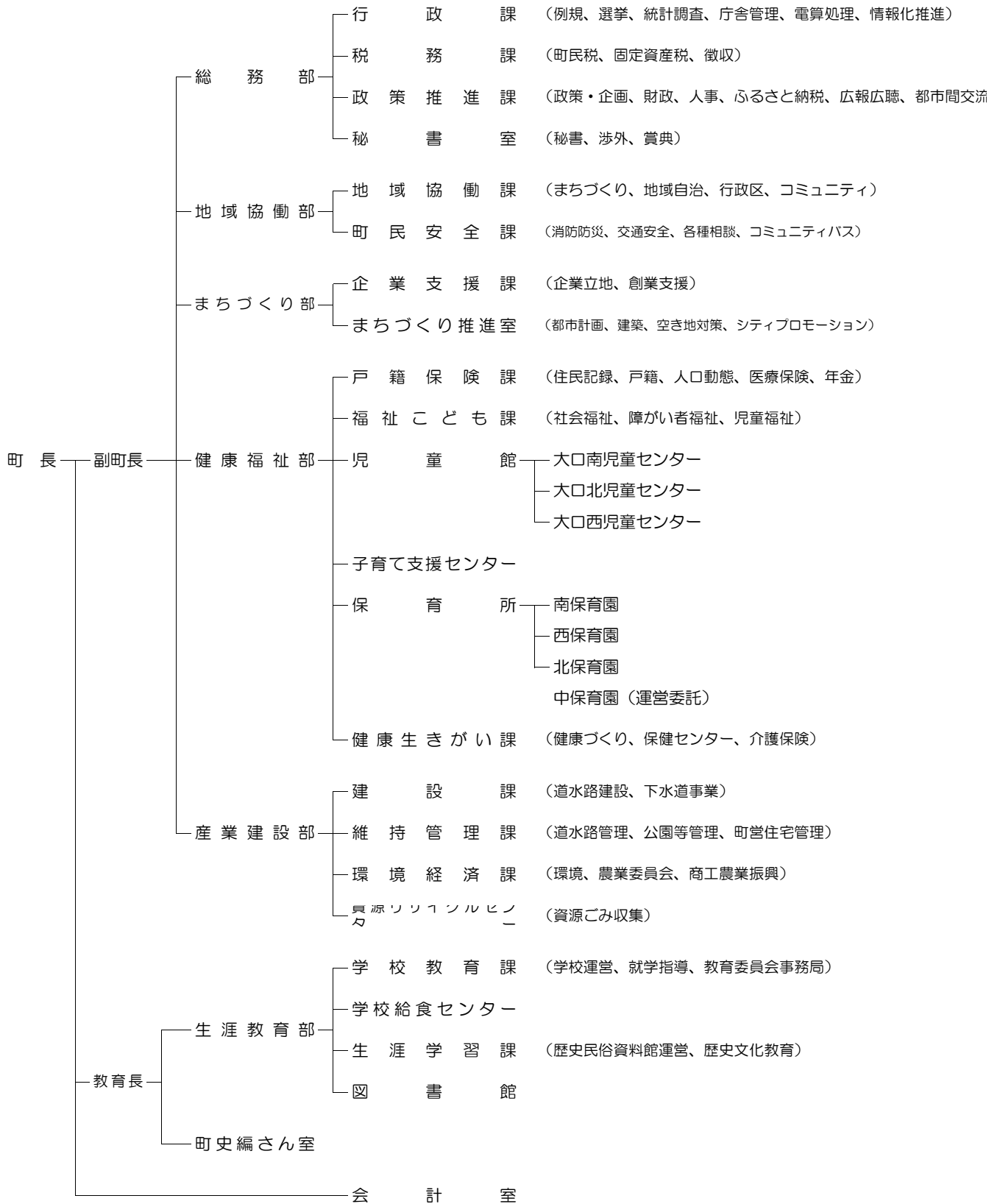
(単位：人)

年	死因	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
平成	2	85	-	25	143.2	-	-	2	12	14	80.2	10	57.3	-	-	7	40.1	-	-	-	-	1	5.7	3	17.8	4	22.9	6	43.4	4	22.9	9	51.5		
	7	119	1	37	194.5	2	10.5	2	11	14	73.6	16	84.1	-	-	12	63.1	1	5.3	-	-	1	5.3	2	10.5	4	21.0	7	36.8	3	15.8	17	89.3		
	12	139	-	38	184.2	1	4.8	1	4.8	15	72.7	23	111.5	1	4.8	24	116.3	-	-	1	4.8	2	9.7	1	4.8	7	33.9	7	33.9	4	19.4	14	67.9		
	17	157	-	46	216.4	2	9.4	-	-	30	141.1	19	89.4	-	-	19	89.4	3	14.1	-	-	1	4.7	4	18.8	4	18.8	6	28.2	2	9.4	21	98.8		
	22	170	-	54	243.3	1	4.7	-	-	27	127.4	11	51.9	1	4.7	22	103.8	3	13.5	-	-	1	4.5	5	22.5	10	45.0	7	31.5	4	18.0	24	108.1		
	27	184	-	59	253.5	-	-	-	-	18	77.3	19	81.6	4	17.2	17	73.0	-	-	-	-	1	4.3	4	17.2	16	68.7	9	38.7	3	12.9	34	146.1		
	28	186	-	57	241.8	2	8.5	-	-	18	76.3	9	38.2	1	4.2	28	118.8	2	9	-	-	5	21.2	3	12.7	14	59.4	6	25.4	3	12.7	38	161.2		
	29	192	-	38	159.5	-	-	2	-	22	92.4	13	54.6	1	4.2	26	109.2	-	-	-	-	2	8.4	2	8.4	21	88.2	12	50.4	3	12.6	50	209.9		
愛知県	H29	67,177	137	19,181	261.7	631	8.6	274	3.7	8,741	119.3	4,935	67.3	1,028	14.0	4,540	62.0	738	10.1	56	0.8	787	10.7	1,115	15.2	5,774	78.8	2,071	28.3	1,054	14.4	22,115	301.8		
全国	H29	1,141,865	2,159	344,105	273.5	13,987	11.1	6,223	4.9	180,745	143.7	122,350	97.2	13,904	11.1	112,004	89.0	15,359	12.2	2,139	1.7	15,969	12.7	22,743	18.1	38,670	30.7	37,756	30.0	30,707	24.4	183,045	146.8		

※大口町：平成28年愛知県衛生年報、愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より

# 6 大口町機構図

平成30年4月1日現在



議会事務局—庶務係・議事係

監査委員事務局—監査事務係

## 7 保健センター（健康文化センター）の概要

平成 10 年健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として、健康文化センターが建設され、保健センターも健康文化センター内に移転した。

### (1) 施設の概要（健康文化センター含む）

- ・位置 丹羽郡大口町伝右一丁目 3 5 番地
- ・本館 構造 鉄筋コンクリート造 5 階建  
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
  - 1 階 1,847.40 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 974.78 m<sup>2</sup>）
  - 2 階 1,639.98 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 611.92 m<sup>2</sup>）  
社会福祉協議会
  - 3 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 歴史民俗資料館
  - 4 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 研修センター
  - 5 階 1,106.63 m<sup>2</sup> トレーニングセンター
  - PH 階（機械室） 167.04 m<sup>2</sup>
- ・機械棟 構造 鉄筋コンクリート造  
床面積 168.00 m<sup>2</sup>
- ・駐輪場 構造 鉄骨造  
床面積 40.00 m<sup>2</sup>  
(延床面積 7,182.31 m<sup>2</sup>)
- ・敷地面積 10,413.95 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本体施設 5,069.95 m<sup>2</sup>  
駐車場 5,344.00 m<sup>2</sup> (平成 27 年度に拡張)
  
- ・本体施設の工期
  - 着工 平成 9 年 6 月 24 日
  - 竣工 平成 10 年 9 月 24 日
- ・使用開始年月日  
平成 10 年 11 月 9 日

### (2) 保健センターの主要施設

- 1 階 事務室・応接室・栄養実習室・栄養指導室・会議室・相談室・機能回復  
訓練室・作業室・多目的室・検査室・授乳室
- 2 階 待合室・予診室・計測室・診察室・歯科室・保健指導室・聴力室・カルテ  
庫・消毒室・検査室・プレイルーム・授乳室

### (3) 事務分掌

- ア 健康づくり推進事業
- イ 地域保健（医療）対策事業
- ウ 感染症等予防事業
- エ 成人保健事業
- オ 母子保健事業
- カ 健康文化センター管理事業

### (4) 主な事業内容

母子保健…母子健康手帳交付説明会、妊婦相談、母親教室、妊産婦・乳児健康診査、妊婦歯科健診、フレッシュママの会、リフレッシュママの会、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）、離乳食教室、子育て相談室、すくすく子育てサロン、たんぼぼ教室、2歳・2歳6か月児歯科健診、一般不妊治療費助成事業、家庭訪問（出生児・低出生体重児・乳幼児健診事後フォロー）、子育てサークル等支援

成人保健…がん検診（胃・大腸・子宮・乳・肺・前立腺）、結核検診、特定健康診査・特定保健指導、肝炎ウイルス検診、ピロリ抗体及びペプシノゲン検査、一般健康診査、わかば健康診査、歯周病予防健診、骨密度測定、健康手帳交付、健康相談、健康教育、家庭訪問、健康づくり自主グループ支援

予防接種…集団接種：BCG

個別接種：【乳幼児・学童】

四種混合、急性灰白髄炎（不活化ポリオ）、B型肝炎、二種混合、小児肺炎球菌(13価)、麻しん・風しん混合（MR）、麻しん、風しん、ヒブ、水痘、日本脳炎、子宮頸がん(2価・4価)

【高齢者】

季節性インフルエンザ、肺炎球菌(23価)

任意接種：風しん抗体検査及び風しんワクチン接種費用助成事業

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

健康推進事業…健康おおぐち21第二次計画の推進事業、健康推進員活動、健康まつり等

その他…健康文化センター維持管理

## 8 保健活動の変遷

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康に関する連絡会開催（月1回）</li> <li>BCG直接接種となる（4月）</li> <li>日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨を見合わせる（5月）</li> <li>日本脳炎予防接種第3期接種を廃止（7月）</li> <li>二種混合予防接種第1期接種を廃止（7月）</li> <li>ちゅーりっぷの会中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本健康診査を除く各種検診を有料とする</li> <li>歯周病予防健診（節目年齢）を医療機関委託で実施（8月～10月）</li> <li>わかば健診時歯科健診実施</li> <li>8020運動表彰を「健康ウォーク&amp;元気まつり」時に実施</li> <li>介護予防教室（しなやかお達者教室）をあいち健康プラザとタイアップで実施</li> <li>大屋敷ひだまりの会休止（3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護法施行（4月）</li> <li>発達障害支援法施行（4月）</li> <li>医療観察法施行（7月）</li> <li>健康おおぐち21推進イベントとウォーキング大会を1本化し協働事業で実施</li> <li>健康おおぐち21シンボルマーク愛称公募し決定（11月）</li> <li>第6次大口町総合計画策定（3月）</li> <li>保健師1名退職（3月）</li> <li>大口町母子通園事業試行（4月～3月）</li> <li>在宅介護支援センター廃止（3月）</li> <li>看護師1名育休（1月～3月）</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻しん風しん混合ワクチン接種施行（4月）</li> <li>個別予防接種が二市二町共通要領にて実施となる（4月）</li> <li>麻しん及び風しんの単抗原ワクチンも法定内接種となる（6月）</li> <li>母親教室の名称を変更し、内容を改編し、パパママ教室を育児編・栄養編として実施（各年6回）</li> <li>たんぼぼ教室を月2回実施</li> <li>9か月児健診を10か月児健診とする</li> <li>マニティキーホルダーを希望者に配布開始（1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防教室（しなやかお達者教室）を豊田地区で実施</li> <li>男性のための健康づくり教室元気UPヘルシーライフ教室実施</li> <li>住民結核検診の対象が40歳以上となる</li> <li>ひだまりの会（中小口）の健康チェックをハートフルへ委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターを町直営で開始（保健師1名福祉課へ異動）</li> <li>看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>管理栄養士1名産育休（9月～3月）</li> <li>改正介護保険法の施行</li> <li>がん対策基本法の制定（6月）（施行は19年4月）</li> <li>障害者自立支援法の施行（4月）</li> <li>高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新バリアフリー法）の制定（6月）</li> <li>健康保険法等の一部改正法（医療制度改革関連法）制定・公布（7月）</li> <li>歯科衛生士（臨時）1名常勤採用（4月）</li> <li>母子通園事業本格実施</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦歯科健康診査を医療機関に委託で実施</li> <li>プレママ交流会（栄養編・育児編）の実施</li> <li>歯科健診の対象者を2歳3か月児とする</li> <li>1歳6か月児健診時の歯科染めだしを廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳がん検診の医療機関での視触診のみを廃止、集団での超音波による検診を導入</li> <li>国保連合会事業として「ヨーガ」教室を実施</li> <li>介護予防事業のための人材育成（貯筋体操ひろめ隊）講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>管理栄養士1名育休（4月～3月）</li> <li>保健師1名育休（9月～3月）</li> <li>健康おおぐち21中間評価を実施</li> <li>健康まつり運営事業を「健康クラブ笑顔21」と協働契約で委託実施</li> <li>老人保健法の改正（20年3月）</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談室に心理相談員を組み入れる</li> <li>・西小学校区連絡会発足(健康部会に参加)</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担を4～9月までは4回、10月から7回で実施</li> <li>・一般不妊治療費の助成を実施(10月)</li> <li>・予防接種法施行規則の一部を改正する省令施行(12月)</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令(20年1月)</li> <li>・麻疹に関する特定感染症予防指針(20年1月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防連絡会開始(地域包括支援センターより発信)</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期・4期麻疹風しん混合ワクチン接種施行(5月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会事業として生き生き教室実施</li> <li>・特定健診、特定保健指導開始(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(11月～3月)</li> <li>・老人保健法の改正により法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に変更され施行(4月)</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査の公費負担を14回で実施</li> <li>・日本脳炎ワクチンに加え、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」を定期の予防接種に用いるワクチンとして追加する(6月)</li> <li>・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん・子宮がん検診実施医療機関を拡大</li> <li>・女性特有のがん検診推進事業開始(9月)</li> </ul>	<p>機構改革により、健康課から健康生きがい課となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名採用</li> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(5月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(3月～)</li> <li>・アメリカで豚由来のインフルエンザウイルスの患者を確認と公表</li> <li>・WHO「フェーズ6(流行)宣言」 国「基本的対処方針」策定 国「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」策定</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳に対する日本脳炎初回接種の積極的勧奨が再開(4月) 日本脳炎ワクチンが使用不可となり、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」のみの使用 第2期接種再開となる 9歳以上13歳未満で第1期未接種者を接種対象とする特例が出る(8月)</li> <li>・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業」により、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成が開始(1月)</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担項目に子宮頸がん、GBSが追加。超音波検査の年齢条件がなくなり、検査は4回実施。乳児健康診査受診票が1回のみとなる</li> <li>・パパママ教室、プレママ交流会の休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性特有のがん検診事業クーポン券5月に発送 1月に未受診者に受診勧奨通知</li> <li>・前立腺がん検診定員を拡大</li> <li>・介護・保険・健康の連携した取り組みを開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師3名育休(4月～3月)</li> <li>・管理栄養士1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名退職(12月)</li> <li>・第6期健康推進員開始</li> <li>・地域包括支援センターをハートフル大口へ委託(4月)</li> <li>・新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種事業が終了(23年3月)</li> <li>・国保・介護・健康の連携プロジェクト(PPKプロジェクト)の立ち上げ</li> </ul>
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診8回目にHTLV-1とクラミジア抗体検査を追加</li> <li>・子育て相談室の第1週目を廃止(平成24年1月～)</li> <li>・4か月健診時 母乳相談を開始(平成24年1月～)</li> <li>＜予防接種＞</li> <li>・日本脳炎の年齢枠が拡大(H7.6.1生まれ～H19.4.1生まれ 20歳未満の間接種可に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば健診時に実施していた歯科健診を中止</li> <li>・大腸がん検診を各種団がん検診時に申し込みできる体制にする。</li> <li>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業開始(6月～)</li> <li>・歯周病予防健診を年間通じて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師1名戸籍保険課へ異動</li> <li>・看護師1名産休育休(9月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> <li>・歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年8月10日公布)</li> <li>・ドアノッキング事業開始(24年1月～)</li> <li>・愛知県の新型インフルエンザ対策行動計画の改定(平成24年2月)</li> </ul>
2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北児童センターにて出張子育て相談実施(単年)</li> <li>・一般不妊治療費助成事業の助成内容変更(対象となる治療内容と助成額)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のがん検診の同日開催の実施</li> <li>・国保連合会事業としてポールウォーキング教室(12回)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名産休育休(5月～3月)</li> <li>・保健師1名採用(任期付き)</li> <li>・健康実態調査の実施</li> <li>・大口町制50周年</li> </ul>



区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
24	<p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月～尾張北部医療圏域内での広域予防接種の開始</li> <li>・9月～ポリオに係る使用ワクチンが“生ワクチン”から“不活化ワクチン”に変更</li> <li>・11月～ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ予防接種に使用するワクチンに「四種混合ワクチン」が追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポールウォーキングの自主グループの立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海学園、(有) マーメイド、NPOウィル大ロススポーツクラブと健康づくり事業の推進に係る協定書を締結</li> <li>・電算システム「super 保健師さん」から「健康かるて」へ変更</li> <li>・国保・介護・健康プロジェクトに福祉を加え、名称をPPKプロジェクトから元気づくりプロジェクトに変更</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年5月制定）</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策本部条例（平成25年3月制定）</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低出生体重児訪問の実施（未熟児訪問、未熟児養育医療給付の市町村への権限移譲）</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCG ワクチンの接種期間の延長</li> <li>・子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌予防接種の定期接種の実施</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の差し控え（6月～）</li> <li>・妊娠を予定または希望する女性とその夫に対する風しんワクチン接種費用の助成（7月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関胃がん検診に胃内視鏡検査を導入</li> <li>・がん検診実施医療機関の追加（山田外科内科、みどりクリニック、伊藤整形内科あいち腰痛オペククリニック）</li> <li>・ポールウォーキングリーダー養成講座</li> <li>・元気づくりサポーター養成講座実施（東海学園にて）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正（平成25年3月30日公布、4月1日施行）</li> <li>・健康おおぐち21 第二次計画策定（平成26年3月）</li> <li>・第7期健康推進員開始、任期2年となる</li> <li>・保健師1名採用</li> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成25年4月施行）</li> <li>・新型インフルエンザ等対策政府行動計画策定（平成25年6月）</li> <li>・愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成25年11月）</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦乳児健診に加え、産婦健診の費用補助を開始（4月～）</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水痘、高齢者肺炎球菌定期接種の実施（10月～）</li> <li>・乳幼児及び学童のA類定期予防接種において、愛知県広域予防接種開始（4月～）</li> <li>・同一ワクチンの接種間隔の上限を撤廃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病予防健診の対象者を40歳以上とし、無料とする。（4月～）</li> <li>・節目年齢（40・45・50・55・60歳）の人のがん検診の自己負担金を無料とする。</li> <li>・子宮頸がん検診の無料クーポン券の対象者を、20・40・45・50・55・60歳とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正（平成26年3月28日公布、4月1日施行）</li> <li>（平成26年7月16日公布、10月1日施行）</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成27年3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・歯科衛生士（臨職）1名退職（3月）</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の風疹ワクチン接種費用の助成に加え、風疹抗体検査費用の助成を開始（4月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診の拡充（MMGの年齢を35歳から引き下げ、超音波検査は、20歳以上は毎年受診可能とする。また、集団検診に加え、医療機関（さくら総合病院、犬山中央病院、江南厚生病院、伊藤整形内科あいち腰痛オペクリニック、すずいクリニック、山田外科・内科）での実施も開始</li> <li>・ヘリコバクターピロリ抗体及びペプシノゲン検査実施（11月～）</li> <li>・高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業の助成内容の変更（対象者）</li> <li>・「元気づくりサポーター養成講座」を戸籍保険課と合同で実施（全3回）</li> </ul>	
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCG 予防接種時に保護者を対象とした「2万人体力測定」を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム在宅医療・介護連携事業開始（H30年度～の実施に向けて）</li> <li>・糖尿病重症化予防講座（全5回）を実施</li> <li>・高齢者対象のポールウォーキング講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町データヘルス計画（保健事業実施計画）策定（平成28年3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師2名産休（11月～1月・1月～3月）</li> <li>・歯科衛生士（臨職）1名採用</li> <li>・地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業 2地区で実施（いきいき100歳体操）</li> <li>・健康マイレージ事業開始に向けた検討部会実施</li> <li>・第8期健康推進員開始</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親教室の再開</li> <li>・7・8か月児対象の子育てサロンを新規開催</li> <li>・歯科健診の対象を2歳児と2歳6か月児に変更&lt;予防接種&gt;</li> <li>・乳児のB型肝炎ワクチンのA類定期予防接種が開始される（10月～）</li> <li>・高齢者のB類定期予防接種が愛知県広域予防接種に追加された（4月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防講座（実践編全2回）実施</li> <li>・国保の糖尿病重症化予防モデル事業を、戸籍保険課と共同で受ける</li> <li>・40歳未満の女性を対象とした運動教室を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健法の一部改正</li> <li>・保健師2名採用、保健師1名退職（H29.2.28）</li> <li>・保健師2名育休（4月～3月）</li> <li>・歯科衛生士（臨職）1名退職（3月）</li> <li>・健康マイレージ事業開始（8月）</li> <li>・在宅医療・介護連携事業について尾北医師会サポートセンターの支援を受ける</li> <li>・大口町業務継続計画（新型インフルエンザ等編）策定（3月）</li> <li>・介護予防事業を地域包括支援センターに委託</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛	生 行 政	法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーター養成講座」実施</li> <li>・骨密度測定の検査方法を超音波検査からエックス線検査に変更。</li> <li>・糖尿病予防教室「血糖改善セミナー」実施（2回を2クール）。</li> <li>・女性のための運動教室「スタイルアップ教室」実施（全3回）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師（臨職）1名退職</li> <li>・第9期健康推進員開始</li> <li>・地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等一部を改正する法律（平成29年6月2日公布）</li> <li>・第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定（平成30年3月）</li> <li>・第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画策定（平成30年3月）</li> <li>・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定（平成30年3月）</li> <li>・子育て支援センター開設（平成30年10月）</li> </ul>
30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・風しんに関する追加的対策について、厚生労働省より通知が出される。（H30.12月）</li> <li>・予防接種法施行令の一部を改正する法令等の施行（H31年2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師1名採用</li> <li>・保健師2名育休（4月～3月）（12月～3月）</li> <li>・保健師2名退職（H30.8月）（H31.1月）</li> <li>・健康おおぐち21第2次計画中間評価報告（平成31年3月）</li> <li>・全国健康保険協会愛知県支部と協定締結（H31年2月1日）</li> <li>・尾北医師会行政窓口となる（H30.7月～）</li> <li>・「健康増進法の一部を改正する法律」公布（H30年7月25日） 一部の規定（受動喫煙対策）の施行（H31年1月24日）</li> </ul>

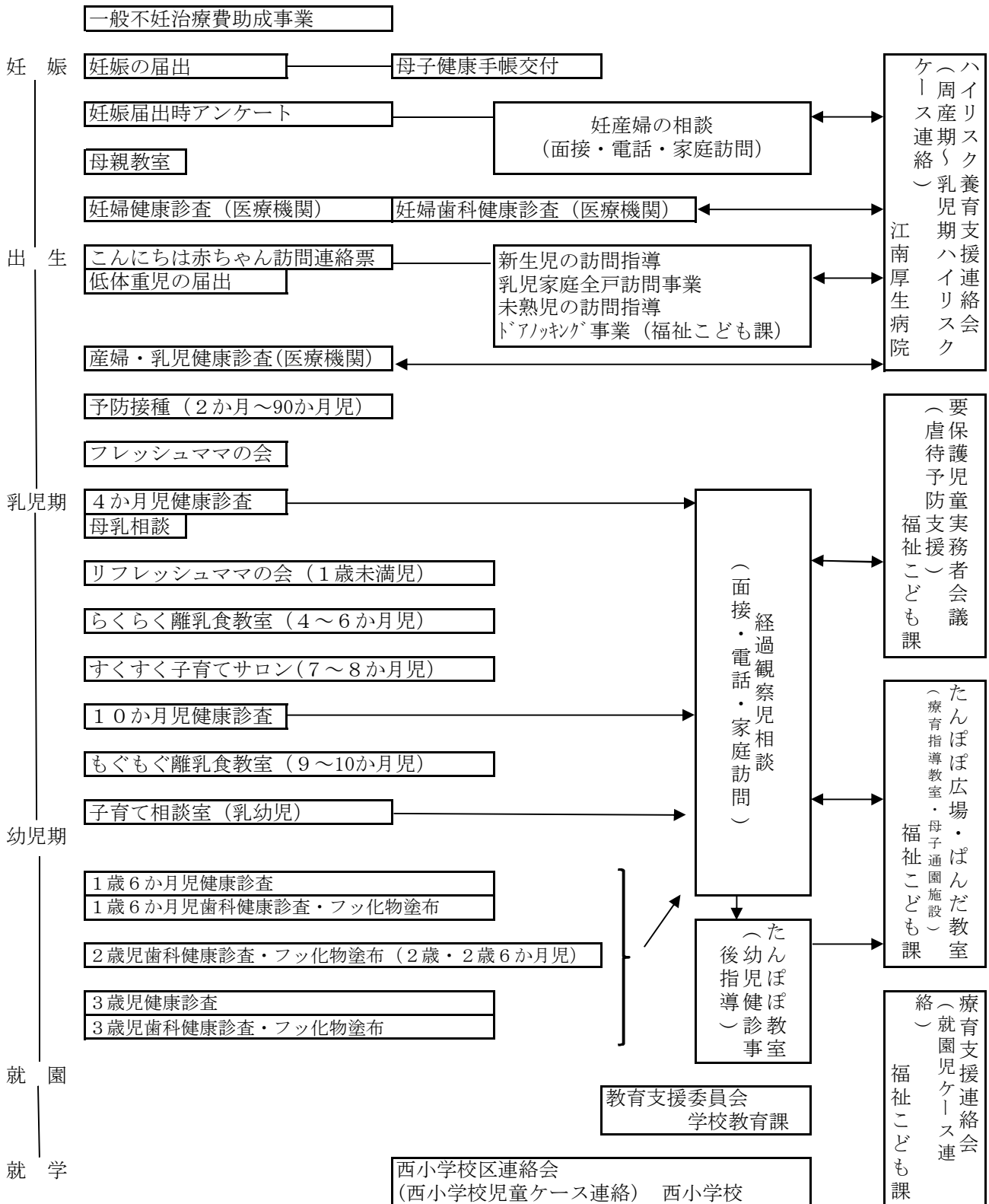
※平成元年～15年までは「平成21年度保健活動のまとめ」、平成16年度は「平成22年度保健活動のまとめ」に記載

## 2 母子保健活動

# 1 母子保健事業の取り組み

母子保健事業では、妊娠・出産・育児を通して母性や父性が育まれ、乳幼児が愛されかつ心身ともに健やかに育つことを目指し、子どもの発達や親の育児力に合わせた保健指導を行った。支援が必要なケースについては、医療機関や母子通園施設、福祉こども課等関係機関と連携して就学前まで継続的な子育て支援を行った。

## 母子保健 管理体系



## 2 一般不妊治療費助成事業

不妊症と診断され人工授精の治療を受けた夫婦を対象に、治療に要した自己負担額の1/2相当額を1年度あたり45,000円を限度に助成した。

### (1) 助成状況

年度	助成実組数 (新規申請数再掲)	うち母子健康手帳の交付を受けた者の数
H28	15(13)組	6人
H29	8(8)組	2人
H30	8(8)組	2人

## 3 母子健康手帳の交付

妊娠の届出により母子健康手帳を交付し、妊婦が妊娠中を心身ともに健康に過ごし無事に出産を迎えることができるよう妊娠中及び産後の生活について保健指導を実施した。

(1) 日 時 説明会：毎月第1・3木曜日 午前10時～11時30分、随時

(2) 内 容 母子健康手帳の交付  
保健指導（母子健康手帳の使い方・妊娠中の生活）  
DVD視聴（「赤ちゃんのこころを育む親と子のふれあい」）  
座談会  
\*随時の場合は手帳の交付と保健指導のみ

(3) 従事者 保健師・管理栄養士

(4) 妊娠届出者の状況 (人)

年度	妊娠届出数	妊娠週数				
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後
H28	240	222 (92.5%)	17 (7.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H29	240	218 (90.8%)	20 (8.3%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
H30	220	196 (89.1%)	21 (9.5%)	3 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

※端数処理により合計100%にならない年あり

(人)

年度	年齢		初産婦	就業有	喫煙有	飲酒有	多胎妊婦
	20歳未満	40歳以上					
H28	1 (0.4%)	10 (4.2%)	103 (42.9%)	129 (53.8%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (1.7%)
H29	5 (2.1%)	12 (5.0%)	98 (40.8%)	152 (63.3%)	3 (1.3%)	1 (0.4%)	4 (1.7%)
H30	3 (1.4%)	5 (2.3%)	102 (46.4%)	146 (66.4%)	5 (2.3%)	0 (0.0%)	4 (1.8%)

## 4 妊産婦乳児健康診査

妊娠の正常な経過や安全な分娩、産褥期の健康管理及び乳児の発達を支援するため、定期的な受診ができるように子宮頸がん検査、14回分の妊婦健康診査、産婦健康診査及び1か月児健康診査に対し受診票を発行し健診費用を助成した。

受診票利用状況 (H30年4月～H31年3月受診分、R1年6月1日健康かるて抽出)

(人)

内容	受診者数	医師判定				所見									
		異常なし		異常あり		蛋白尿 (2+以上)		尿糖 (2+以上)		血糖 (異常あり)		血算 (異常あり)			
子宮頸がん	200 (4)	198 (4)	2 (0)												
第1回	217 (6)	203 (6)	14 (0)	0	0	0	5	0	未把握	未把握	未把握	未把握			
第2回	222 (4)	211 (4)	11 (0)	0	0	0	3	0							
第3回	224 (9)	208 (7)	16 (2)	0	7	(1)									
第4回	228 (9)	217 (8)	11 (1)	0	4	0									
第5回	218 (11)	201 (10)	17 (1)	2	5	0									
第6回	244 (13)	234 (13)	10 (0)	1	4	0									
第7回	226 (11)	217 (9)	9 (2)	2	2	(1)									
第8回	220 (10)	184 (10)	36 (0)	0	3	0	8	0	30	0					
第9回	206 (25)	195 (23)	11 (2)	0	6	(2)									
第10回	226 (30)	202 (29)	24 (1)	3	4	(1)									
第11回	181 (24)	172 (21)	9 (3)	1	4	0									
第12回	202 (30)	148 (21)	54 (9)	2	2	(1)						50	(8)		
第13回	139 (22)	131 (20)	8 (2)	1	6	(1)									
第14回	80 (16)	75 (15)	5 (1)	0	1	0									
1～14回合計	2833 (220)	2598 (196)	235 (24)	14	56	(7)	8	0	80	(8)					
実人数	373 (40)														
産婦健康診査	231 (33)	220 (32)	11 (1)	1	0	0	0	0	メンタルチェック実施 86 (26)						
乳児健康診査	232 (32)	226 (31)	6 (1)												

\* ( ) は県外受診者再掲

## 5 家庭訪問

乳児家庭全戸訪問事業においては、乳児家庭の孤立化を防ぐために助産師又は保健師が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに親子の健康状態や養育環境を把握し保健指導を行った。また、若年や妊娠高血圧症等のハイリスク妊婦、発達や育児に問題のある乳幼児、育児不安や家庭環境に問題のある親子、乳幼児健診未受診者に対し、安心して出産、育児ができるよう家庭を訪問し支援した。

(1) 従事者 保健師 助産師

(2) 実施状況 (H30年4月～H31年3月実施分)

\* 里帰り訪問(町外在住者)1件乳児に計上、乳児家庭全戸訪問事業に再掲せず

(人)

	妊婦		産婦		新生児		低出生体重児		乳児		幼児		その他	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
実施数	1	1	230	230	5	5	21	21	220	227	33	40	1	8
(再掲) 乳児家庭 全戸訪問事業					5		19		206					

● 過去3年間の低出生体重児の状況

(人)

年	出生数	低体重児出生数	率 (%)	500g未満	500g～999g	1,000g～1,299g	1,300g～1,499g	1,500g～1,799g	1,800g～1,999g	2,000g～2,299g	2,300g～2,499g
H27	229	20	8.7	—	—	—	—	—	—	10	10
H28	233	22	9.4	—	—	—	—	1	1	8	12
H29	251	20	8.0	1	1	—	—	2	3	8	5
愛知県 (H29)	62,436	5,913	9.5	22	152	140	150	330	405	1,661	3,053

(愛知県衛生年報より)

## 6 母親教室

出産や育児に不安を抱える母親が、安心して楽しく育児ができるような支援が必要である。妊産婦に対して、妊娠・出産・育児についての正しい知識を普及するとともに、母親等の仲間づくりを支援することにより、出産や育児に対する不安を軽減することを目的に、休止していた母親教室を平成28年度より実施した。

- (1) 日 時 奇数月第2水曜日 午前9時30分～11時30分  
 (2) 内 容 講義「出産育児に向けてのからだづくりと母乳哺育について」  
 交流会（妊婦・すくすく子育てサロン参加者）・個別相談  
 (3) 従事者 助産師・保健師 (人)  
 (4) 参加状況

年度	実施回数	参加者数（初産婦再掲）		
		妊婦	産婦	家族
H28	5回	31 (24)	1 (1)	夫1
H29	6回	36 (21)	0	夫2, 母1
H30	6回	27 (9)	0	夫2

## 7 すくすく子育てサロン

乳児の健康や保育に関する正しい知識を普及し、また、親子のふれあいの大切さを伝えることにより健全な子どもの育成を支援するとともに、母親同士の交流を図ることで乳児期の母親の孤立防止及び育児不安の軽減を図ることを目的に実施した。

- (1) 日 時 奇数月第2水曜日 午前10時～11時30分  
 (2) 内 容 事故予防について（DVD視聴）  
 親子ふれあい遊び・離乳食の話（離乳食中期～完了期）  
 交流会（すくすく子育てサロン参加者・母親教室参加者）  
 (3) 従事者 保育士・管理栄養士・保健師  
 (4) 参加状況

年度	実施回数	参加数
H28	5回	32組
H29	6回	60組
H30	6回	42組

## 8 フレッシュママの会

育児の悩みを抱えやすい産後間もない母親同士が悩みを共感し前向きに育児に取り組めるように、仲間づくりを目的として生後2、3か月児の母親を対象にフレッシュママの会を開催した。

- (1) 日 時 偶数月第4金曜日 午後1時30分～3時  
 (2) 内 容 身体計測、座談会、ベビーマッサージ  
 集団指導（母親の食事・保健事業の紹介・予防接種勧奨）  
 (3) 従事者 助産師・保健師・管理栄養士  
 (4) 参加状況

年度	実施回数	参加数（初産婦再掲）
H28	6回	71 (50) 組
H29	6回	79 (48) 組
H30	6回	65 (40) 組



## 9 子育て相談室

育児不安等の問題を抱える保護者が安心して育児に取り組めるよう発育相談、育児相談、栄養相談、発達相談を実施した。

- (1) 日 時 毎月第3月曜日 午前9時～11時30分  
 (心理相談員による発達相談は奇数月)  
 毎月第4水曜日 午後1時30分～2時15分 (助産師相談)
- (2) 内 容 身体計測 育児相談 経過観察児相談 母乳相談
- (3) 従事者 保健師・管理栄養士・心理相談員・助産師
- (4) 相談者の状況 (人)

年度	利用者総数		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H28	189	349	0	0	100	240	89	109
H29	232	410	0	0	158	294	74	116
H30	221	388	0	0	135	287	86	101

<内訳> (人)

従事者	相談者総数		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
保健師	74	108	0	0	39(22)	63(38)	35(23)	45(25)
栄養士	21	26	0	0	18(5)	21(5)	3(1)	5(1)
心理相談員	17	17					17(14)	17(14)
助産師	35	43	0	0	33(27)	40(27)	2(0)	3(0)
検尿	27	29	0	0			27(27)	29(29)
視力聴力 再検査	2	2					2(2)	2(2)
身体計測のみ	45	163			45	163		

※ ( ) は健診事後指導数、助産師欄は4か月児健診個別相談数再掲

\* 子育て相談日以外の母子保健に関する相談

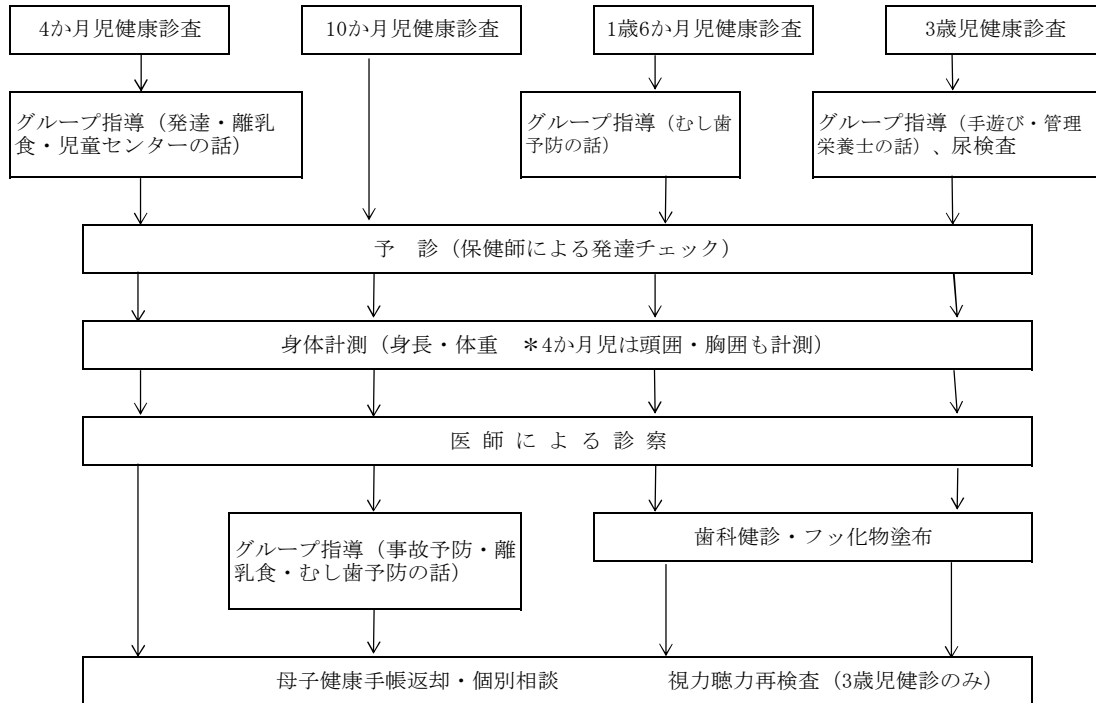
(人)

従事者		保健師 (7)	管理栄養士 (1)
面接 相談	被指導実人数	133	7
	被指導延人数	143	7
電話相談・被指導者数		259	3

# 10 乳幼児健康診査

乳幼児期の大切な節目である時期に、先天性異常や視聴覚、運動機能、精神発達等の異常を早期に発見し、適切な指導を行い心身障害の進行を未然に防止するとともにむし歯の予防、発育、栄養、生活習慣、その他の育児に関する指導を行い、乳幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的として乳幼児健康診査を実施した。

## (1) 内容



## (2) 4か月児健康診査結果

単位：人 (%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	238	241	101.3%	209 (86.7)	18 (7.5)	8 (3.3)	1 (0.4)	5 (2.1)
H29	12	261	257	98.5%	221 (86.0)	17 (6.6)	9 (3.5)	1 (0.4)	9 (3.5)
H30	12	234	235	100.4%	205 (87.2)	15 (6.4)	14 (6.0)	0 (0.0)	1 (0.4)
愛知県 (H29)		44,596	43,723	98.0%	79.3%	7.5%	8.3%	0.9%	4.1%

## 4か月児健康診査要因別支援判定

単位：人 (%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	239 (99.2)	0 (0.0)	2 (0.8)	0 (0.0)	225 (93.4)	6 (2.5)	10 (4.1)	0 (0.0)	217 (90.0)	7 (2.9)	17 (7.1)	0 (0.0)	241 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	249 (96.9)	1 (0.4)	7 (2.7)	0 (0.0)	236 (91.8)	2 (0.8)	18 (7.0)	1 (0.4)	226 (87.9)	3 (1.2)	28 (10.9)	0 (0)	253 (98.4)	1 (0.4)	3 (1.2)	0 (0)
H30	232 (98.7)	1 (0.4)	2 (0.9)	0 (0.0)	214 (91.1)	4 (1.7)	17 (7.2)	0 (0.0)	209 (88.9)	9 (3.8)	17 (7.2)	0 (0.0)	235 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H29)	91.7%	3.2%	4.7%	0.4%	76.7%	14.1%	7.8%	1.4%	80.7%	13.1%	5.9%	0.3%	98.7%	1.0%	0.3%	0.0%

\*愛知県：一宮市を除く・中核市を含む

(3) 10か月児健康診査結果

単位：人（％）

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	242	242	100.0%	199 (82.2)	17 (7.0)	25 (10.3)	1 (0.4)	0 (0.0)
H29	12	250	250	100.0%	207 (82.8)	12 (4.8)	28 (11.2)	2 (0.8)	1 (0.4)
H30	12	252	246	97.6%	208 (84.6)	14 (5.7)	24 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)

(4) 1歳6か月児健康診査結果

単位：人（％）

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	259	262	101.2%	220 (84.0)	19 (7.3)	23 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	12	261	260	99.6%	220 (84.6)	17 (6.5)	21 (8.1)	2 (0.8)	0 (0.0)
H30	12	246	241	98.0%	209 (86.7)	14 (5.8)	14 (5.8)	4 (1.7)	0 (0.0)
愛知県 (H29)		46,704	45,784	98.0%	80.0%	5.9%	11.4%	0.5%	2.2%

1歳6か月児健康診査要因別支援判定

単位：人（％）

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	103 (39.3)	141 (53.8)	17 (6.5)	1 (0.4)	258 (98.5)	4 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	224 (85.5)	21 (8.0)	16 (6.1)	1 (0.4)	262 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	107 (41.2)	130 (50.0)	23 (8.8)	0 (0)	258 (99.2)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 (0)	228 (87.7)	13 (5.0)	1 (0.4)	0 (0)	259 (99.6)	0 (0)	1 (0.4)	0 (0)
H30	86 (35.7)	130 (53.9)	25 (10.4)	0 (0.0)	236 (97.9)	2 (0.8)	3 (1.2)	0 (0.0)	214 (88.8)	6 (2.5)	21 (8.7)	0 (0.0)	239 (99.2)	2 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H29)	49.1%	14.7%	34.5%	1.6%	81.8%	12.0%	4.5%	1.8%	80.6%	13.5%	5.6%	0.3%	97.6%	1.9%	0.4%	0.0%

\*愛知県：一宮市を除く・中核市を含む

(5) 3歳児健康診査結果

単位：人（％）

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	218	215	98.6%	181 (84.2)	7 (3.3)	2 (0.9)	0 (0.0)	25 (11.6)
H29	13	284	288	101.4%	231 (80.2)	13 (4.5)	8 (2.8)	0 (0.0)	36 (12.5)
H30	12	271	261	96.3%	206 (78.9)	9 (3.4)	9 (3.4)	0 (0.0)	37 (14.2)
愛知県 (H29)		46,862	45,745	97.6%	74.1%	4.8%	9.4%	0.5%	11.2%

3歳児健康診査要因別支援判定

単位：人（％）

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	146 (68.0)	24 (11.2)	35 (16.3)	10 (4.7)	207 (96.3)	6 (2.8)	2 (0.9)	0 (0.0)	190 (88.3)	6 (2.8)	17 (7.9)	2 (0.9)	214 (100)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	212 (73.6)	23 (8.0)	43 (14.9)	10 (3.5)	286 (99.3)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0)	260 (90.3)	5 (1.7)	22 (7.6)	1 (0.3)	287 (99.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
H30	193 (73.9)	9 (3.4)	52 (19.9)	7 (2.7)	259 (99.2)	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.4)	236 (90.4)	2 (0.8)	23 (8.8)	0 (0.0)	260 (99.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)
愛知県 (H29)	66.7%	15.7%	14.0%	3.5%	66.3%	17.2%	13.1%	3.4%	82.8%	13.0%	3.8%	0.4%	97.5%	2.1%	0.4%	0.0%

\*愛知県：一宮市を除く・中核市を含む

※(1)～(5) ( )内は小数点第二位を四捨五入した値

## 1 1 離乳食教室

### (1) 目的及び対象者等

	らくらく離乳食教室（前期）	もぐもぐ教室（後期）
目的	離乳食の開始から中期について、離乳食期が食習慣の形成に大切な時期であることを認識し、児の口の発達に合わせた離乳食を作り、進めることができる。	咀嚼の促しの必要性や歯の萌出に合わせた離乳食の形態を理解し作ることができる。また、離乳食だけではなく、家族の食事としての充実を図る。
対象者	生後 5～7 か月児とその保護者	生後 8～11 か月児とその保護者
日時	奇数月第 3 水曜日（年 6 回） 午前 10 時～11 時 30 分	偶数月第 3 水曜日（年 7 回） ※申し込み多数のため 2/22 に追加実施 午前 9 時 30 分～11 時 30 分
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食の開始から 7 か月頃の講話</li> <li>離乳食のデモンストレーションとその試食</li> <li>個別相談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9 か月頃以降の進め方についての講話</li> <li>調理実習（親の食事からの取り分け食）</li> <li>試食と個別相談（希望者）</li> </ul>
従事者	管理栄養士 保健師	
場所	健康文化センター1階 栄養実習室・栄養指導室	

### (2) 参加状況

(ア) らくらく離乳食教室の参加内訳 1 回あたり 13.3 人の参加

参加人数	5 か月未満児	5・6 か月児	7 か月以上児	個別相談者	第 1 子	第 2 子～
80 人	13 人	65 人	2 人	25 人	55 人	25 人

(イ) もぐもぐ教室の参加内訳 1 回あたり 10.0 人の参加

参加人数	9 か月未満児	9・10 か月児	11 か月以上児	個別相談者	第 1 子	第 2 子～
70 人	15 人	47 人	8 人	38 人	51 人	19 人

## 12 たんぽぽ教室

1歳6か月児及び3歳児健康診査等で育児や発達について経過観察が必要となった親子を対象に、経過観察とともに親子遊びを通して子どもの発達を促し、また、親が子どもの対応を学び子育ての困難さや不安を軽減できるよう支援することを目的として教室を開催した。教室を終了した親子には、必要に応じ継続して療育指導を受けられるよう母子通園施設やたんぽぽ広場の参加を勧奨した。

- (1) 日 時 毎月第2・4木曜日 午前9時45分～正午  
(スタッフカンファレンスは午前9時15分～9時45分、午後1時～3時)
- (2) 参加回数 1クール6回 (必要に応じ2クールまで継続参加)
- (3) 従事者 保健師 保育士 心理相談員 (第2木曜日) 言語聴覚士 (第4木曜日)  
家庭児童相談員 (年11回) 母子通園施設保育士 (年4回)

(4) 内 容

時 間	内 容
9:45～10:00	出席シール貼り
10:00～11:00	自由遊び、あいさつ、体操 ふれあい遊び、手遊び、絵本よみきかせ 設定遊び (新聞、粘土、風呂敷、お絵描き、サーキット、制作)
11:00～11:30	母子分離 (1クール2回実施。母親：心理相談員か言語聴覚士によるグループ話し合い、子ども：自由遊び)
11:30～正午	個別相談 (3回目・6回目)

(5) 実施状況 (人)

年度	回数	参加人数	
		実人数	延人数
H28	24	45	216
H29	24	33	112
H30	24	46	215

(6) 参加者年齢内訳

H27年4月～H28年3月生まれの子 (次年度就園対象年齢)	22人
H28年4月～H29年3月生まれの子	24人

(7) 教室終了後の状況

①母子通園施設利用	17人 【うち次年度就園6人(保育園3人、幼稚園3人)】
②たんぽぽ広場利用	12人 【うち次年度就園8人(保育園1人、幼稚園7人)】
③次年度継続参加予定	4人
④終了	13人 【理由：中断4人、転出1人、就園8人】

## 1 3 子育て支援・他機関との連携

### (1) 赤ちゃん抱っこ体験（中学生子育て体験）

大口町次世代育成支援後期行動計画の「次世代の親を育むための教育」として、中学生が乳幼児とのふれあいを通じて自分を大切にする気持ちや命の尊さ、人を思いやる心を養うことを目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時・場所

平成30年8月3日（金）午前9時45分～正午 大口町子育て支援センター

#### イ 従事者

児童センター厚生員 保健師 中学校養護教諭 子育てネットワークカー

#### ウ 参加者

大口中学校生徒 11人

### (2) 療育支援連絡会

乳幼児期の療育支援のあり方についての検討会や要支援ケースの情報交換を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

平成30年5月17日（木）・ 11月1日（木）・ 平成31年2月7日（木）

午後3時30分～5時15分

#### イ 出席者

保育長 保育園 幼稚園 母子通園 児童センター 子育て支援センター  
家庭児童相談員 保健師

### (3) 大口西小学校区連絡会

大口町の子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について情報交換及び検討することを目的として開催された。（主催：大口西小学校）

#### ア 日時

<支援部会>平成30年5月15（火）欠席・ 6月8日（金）午後2時30分～4時15分

平成30年11月26日（月）午後3時～4時20分

<支援部会・健康部会>平成31年2月25日（月）午後4時～ 欠席

#### イ 出席者

大口西小学校 大口中学校 幼稚園（ラ・モーナ、大口） 保育園（北・西）  
西児童センター 保育長 地域包括支援センター 保健師

### (4) 要保護児童実務者会議

児童虐待に関する情報交換及び要保護児童等の実態把握、支援体制の検討を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

毎月第1木曜日 午後1時30分～3時

#### イ 出席者

一宮児童相談センター（児童福祉司） 尾張福祉相談センター（家庭児童相談員）

江南保健所（保健師） 福祉こども課 学校教育課 健康生きがい課（保健師）

#### (5) ハイリスク養育支援連絡会

江南厚生病院こども医療センター、NICU・GCU病棟、産婦人科を含む女性病棟、小児科及び産婦人科外来と、保健所、市町保健センターが連携を図り、ハイリスク児またはハイリスクの可能性のある児の家庭における育児支援体制を円滑にするための情報交換をすることを目的として開催された。  
(主催：江南厚生病院)

##### ア 日時

平成30年6月5日(火) 12月4日(火) 平成31年3月5日(火) 午後4時～5時

\*第2回(9月4日)は大型台風の接近により中止

##### イ 出席者

江南厚生病院(こども医療センター 産婦人科病棟 NICU・GCU 小児科外来  
産婦人科外来 患者相談支援センター)

江南保健所 保健センター(岩倉市 江南市 犬山市 扶桑町 大口町)

#### (6) ドアノッキング事業

子育てに悩み家にひきこもりがちになってしまう乳幼児期の子育て家庭に対し、地域ぐるみで家庭を見守り子育てを支援することで虐待を防止することを目的に、子育て情報のお知らせ等を行うドアノッキング訪問が実施された。(主催：福祉こども課)

##### ア 訪問時期

生後5～6か月、1歳頃

##### イ 従事者

主任児童委員、民生委員・児童委員

#### (7) たんぽぽ広場

たんぽぽ教室を終了した親子が就園するまで継続して地域で療育支援を受けられるよう西児童センターにおいて親子遊びの教室が開催された。(主催：福祉こども課)

#### (8) 保育園児に向けた食育の取り組み

年少児は、正しい姿勢、正しい箸の使い方ですり食べができるようにすること、年中児は、おいしく食事を味わうために、かつおだしが何からできているのかを知ること、年長児では、五味の正しい味の表現を身につけることを目的とし、保育園栄養士と連携を図り、食育を実施した。(主催：保育園)

##### ア 日時及び場所

平成31年2月8日(金)北保育園、2月26日(火)西保育園

2月28日(木)南保育園、3月4日(月)中保育園

午前9時30分～午後12時30分

##### イ 従事者

管理栄養士(保育園・健康生きがい課)、各園保育士

##### ウ 実施人数

各園保育園児 計413名

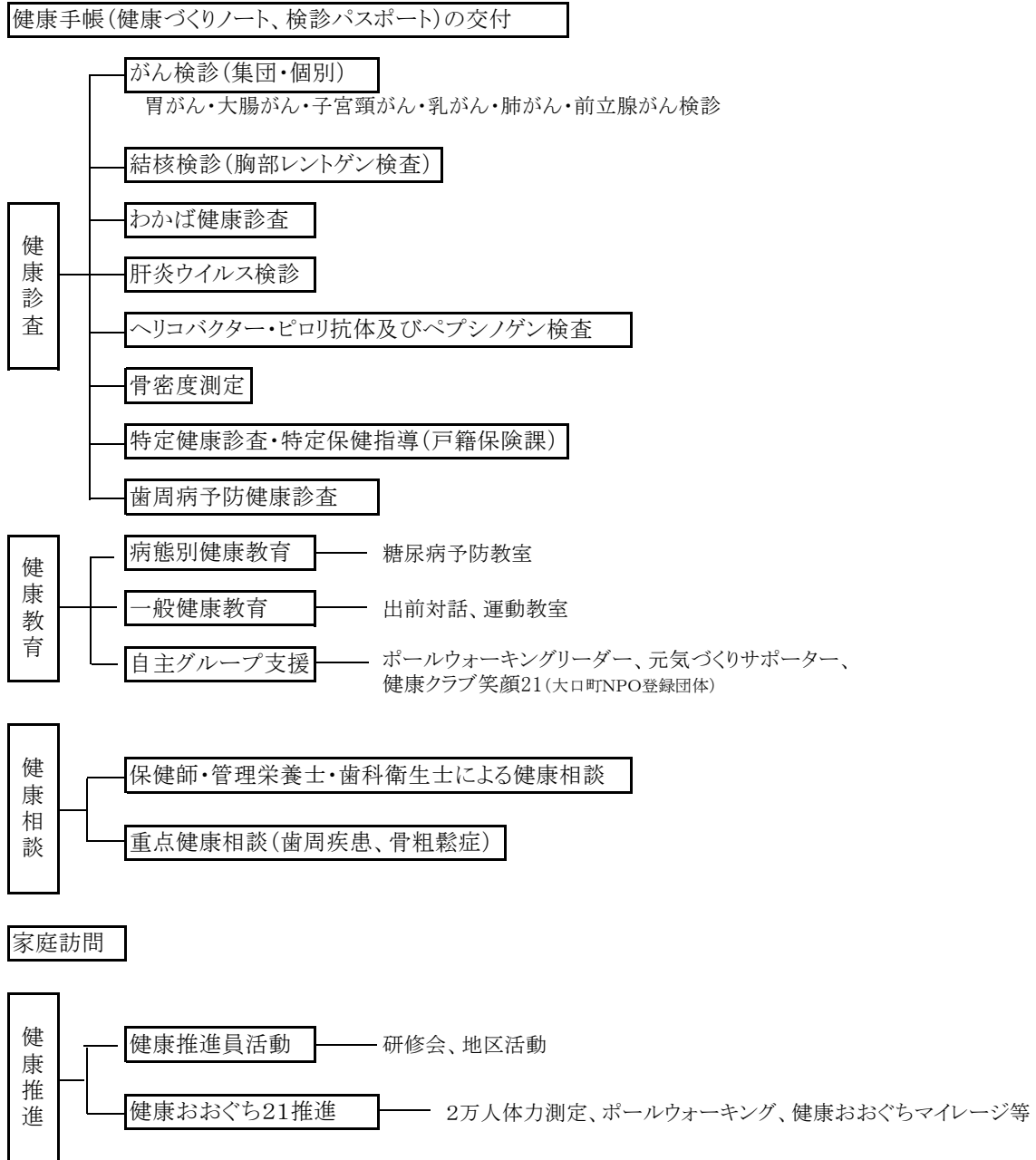
### 3 成人保健活動



# 1 成人保健事業の取り組み

すべての町民が、健康で生きがいのある自立した生活を全うできるよう、健康増進法に基づく保健事業を柱として取組みを実施した。保健事業の対象は、成人期から高齢期に至るまでとし、医療機関や保健所、他部署等の関係機関と連携をとって、生活習慣病の早期発見、重症化予防とともに、「自分の健康は自分で守る」という積極的な健康行動への働きかけや動機づけに関する支援を行った。

## 成人保健管理体系



## 2 健康手帳の交付

### (1) 目的

がん検診や特定健康診査・保健指導等の記録、その他の健康の保持のために必要な事項を記載できる健康手帳を交付することにより、町民自らの健康管理と適切な医療行動を促す。

### (2) 内容

10年間の検診受診状況や体力測定実施状況が記録できる検診パスポートを集団がん検診等の検診受診者に配布した。また、10年間の検診結果や体力測定結果、既往歴、健康目標等が記録できる健康づくりノートを健康教育及び重症化予防事業の参加者や健康マイレージポイント達成者に配布し、記録の活用を促すことで自主的な健康づくりの実践を支援した。

### (3) 交付状況

#### ア 検診パスポート

(人)

交付数		年代別			(再掲)	
		40歳未満	40～74歳	75歳以上	新規交付	再交付
男性	115	2	88	25	92	23
女性	270	57	181	32	214	56
合計	385	59	269	57	306	79

#### イ 健康づくりノート

(人)

交付数		年代別			合計
		40歳未満	40～74歳	75歳以上	
男性		0	0	0	0
女性		4	0	0	4
合計		4	0	0	4

### 3 特定健康診査・特定保健指導

#### (1) 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者は40歳以上の被保険者および被扶養者に対し、メタボリックシンドロームに着目した健康診査・保健指導を行うことにより、生活習慣病のリスク要因の減少を図り、糖尿病等、生活習慣病の有病者、予備群を減少させる。

#### (2) 特定健康診査の対象者

大口町国民健康保険被保険者および被扶養者(40歳～74歳)

#### (3) 特定健康診査の実施期間及び実施場所

人間ドック 5月～8月 人間ドック委託医療機関

個別健診 7月～10月 大口町・扶桑町の委託医療機関

集団健診 平成31年1月20日(日) 大口町保健センター

\*健康診査の実施主体は戸籍保険課

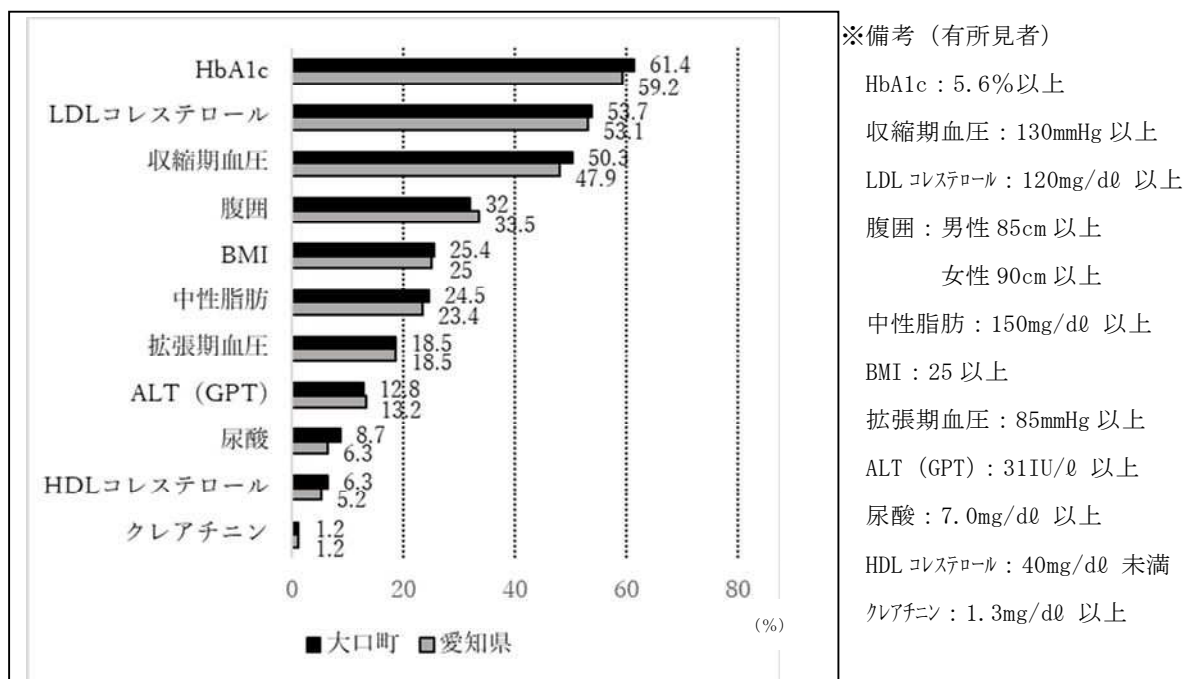
#### (4) 平成30年度特定健診受診者数

(H31.3.31現在 H30.9.13までの途中加入者および資格喪失による除外者を含む)

受診券発行者数	3,599人
特定健康診査受診者数	1,729人

特定健康診査受診率 <b>48.0%</b>
---------------------------

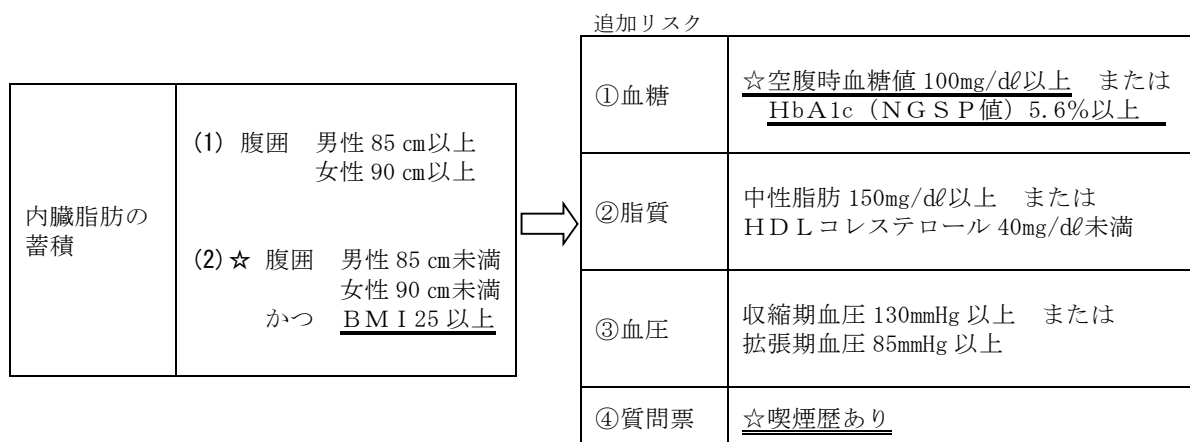
#### (5) 平成30年度特定健診受診者の有所見者状況と割合



平成30年度国保データベース有所見者状況より

(6) 特定保健指導対象者の選定

特定健康診査結果から、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因の数に着目し、リスクの高さや年齢に応じ、動機付け支援・積極的支援のレベル別に対象者を選定します。

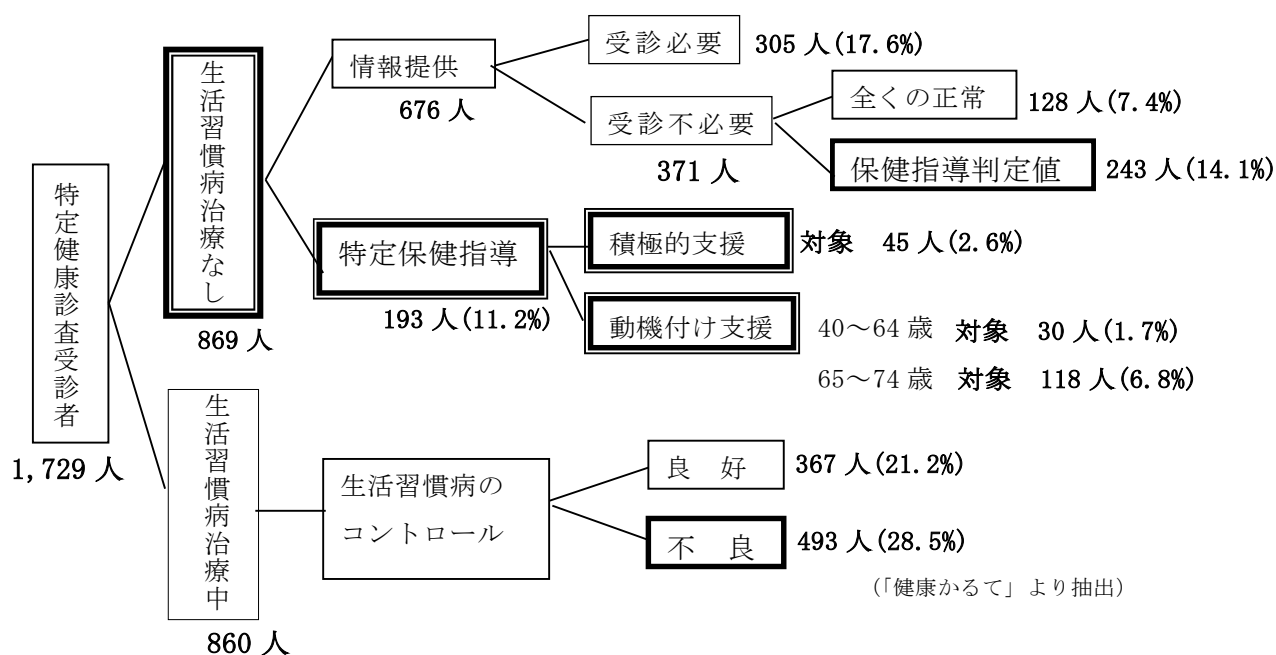


指導レベルのグループ分け

追加リスクの数	(1) の場合 (腹囲)	(2) の場合 (BMI)
3つ以上	積極的支援レベル	積極的支援レベル
2つ		動機付け支援レベル
1つ	動機付け支援レベル	
0	情報提供レベル	情報提供レベル

- (注) 1 喫煙歴については、①～③のリスクが1つ以上の場合のみカウントする。  
 2 前期高齢者(65歳～74歳)は、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。  
 3 服薬中の人は医療保険者による特定保健指導の対象としない。

特定保健指導階層化



(7) 特定保健指導 利用状況《30年度》(資格喪失による除外者を含む H31.3 現在)

特定保健指導利用人数

利用者 男女比

	対象者	利用者	利用率
動機づけ 40～64歳	30人	9人	30.0%
動機づけ 65歳以上	118人	30人	25.4%
積極的	45人	2人	4.4%
全体	193人	41人	21.2%

男性	女性
29人	12人
70.7%	29.3%

<b>保健指導利用率</b> <b>21.2%</b>
--------------------------------

平成30年度 特定保健指導 実施状況

	初回支援 集団または個別	継続支援 個別	運動支援(※1) 個別支援	継続支援 個別	中間評価 (積極的支援のみ)	継続支援 電話	6ヶ月評価 集団または個別
1クール	H30年9月実施 個別 5人	H30年10月	【開催日】 H30.10/22 12/21 H31. 2/20 3/25  【参加者数】 計17名  ②個別(ライフコーダ支援) 進化型歩数計(ライフコーダ) による身体活動の支援 【参加者】 21名	H30年11月	H30年12月	H31年2月	H31年3月
2クール	H30年11月実施 個別 5人	H30年12月		H31年1月	H31年2月 該当なし	H31年4月	R元年5月
3クール	H31年1月実施 集団 3人 個別 6人	H31年2月		H31年3月	H31年4月	R元年6月 実施予定	R元年7月 実施予定
4クール	H31年2月実施 集団 9人 個別 8人	H31年3月		H31年4月	R元年5月 該当なし	R元年7月 実施予定	R元年8月 実施予定

\* 江南厚生病院へ特定保健指導委託：7月～3月(国民健康保険人間ドック実施者のみ)

H30年度利用者人数 5名

(8) 平成29年度 特定健診・特定保健指導 法定報告

資料：平成29年度 市町村国保特定健診・保健指導実施状況概況報告書

(単位：%)

	全国	愛知県	大口町
特定健康診査 受診率	37.2	39.7	47.4
特定保健指導 終了率	26.9	16.8	19.6
(積極的支援) 終了率	17.0	10.1	15.6
(動機付け支援) 終了率	30.0	18.7	20.6
内臓脂肪症候群該当者の減少率	20.9	20.4	19.0
内臓脂肪症候群該当者	18.0	19.4	20.0
内臓脂肪症候群予備群	10.8	10.3	8.5
高血圧服薬治療中	34.6	35.8	36.7
脂質異常症服薬治療中	24.8	27.8	27.5
糖尿病服薬治療中	7.9	9.0	10.0

(9) 平成 29 年度特定保健指導実施者の状況と支援の内訳

《終了者の状況》

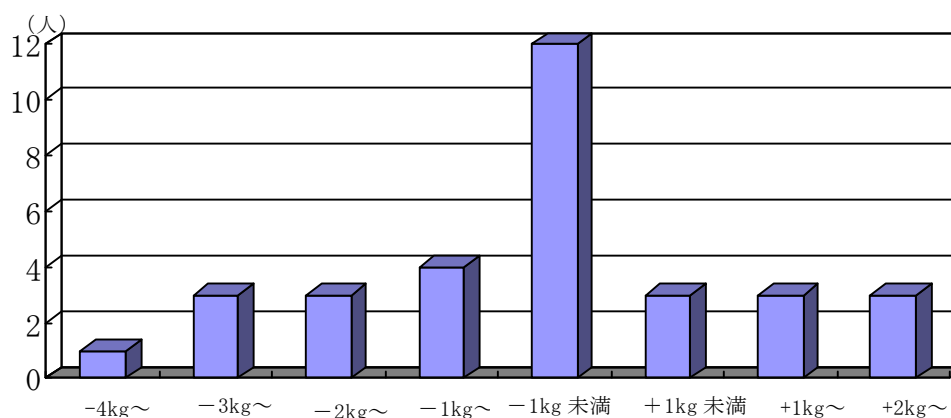
	対象者	参加者	参加率	終了者	対参加者 終了率	対対象者 終了率
積極的支援	32 人	5 人	15.6%	5 人	100.0%	15.6%
動機づけ支援	126 人	27 人	21.4%	26 人	96.3%	20.6%
合計	158 人	32 人	20.3%	31 人	96.9%	19.6%

(10) 平成 29 年度特定保健指導利用者の変化

《体重、腹囲の変化》

	最大	最小	中央値
体重の変化	-5.5kg	+2.7kg	-0.6kg
腹囲の変化	-5.8 cm	+4.7 cm	-1.2cm

特定保健指導利用者の体重変化別人数



《生活習慣の変化》 評価対象者：積極的支援 5 名、動機づけ支援 27 名

		改善	変化なし	悪化
食生活	積極的支援	4 人	—	1 人
	動機づけ支援	16 人	11 人	—
身体活動	積極的支援	2 人	2 人	1 人
	動機づけ支援	11 人	16 人	—

(11) 糖尿病等生活習慣病重症化予防事業 《平成 30 年度》

《事業の目的》

大口町国民健康保険特定健康診査の結果から、糖尿病等生活習慣病の重症化リスクが高い者に対し、生活習慣改善支援および医療機関への受診勧奨を行うことにより、糖尿病や高血圧等生活習慣病の重症化および合併症の発症を予防する。

《受診勧奨と生活習慣改善支援》

- 対象者 ①血糖 : HbA1c6.5%~6.9%に該当し、糖尿病未治療のもの  
HbA1c7.0%以上に該当し、糖尿病未治療のもの  
糖尿病治療中で、HbA1c8.0%以上に該当するもの
- ②血圧 : 高血圧未治療者で、収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg 以上に該当し、前年度または前々年度においても同様に血圧高値のもの

\*「未治療者」とは、特定健康診査問診票において服薬なしと回答した者ただし、レセプト等で受診を確認できた者については対象除外とする。

○実施状況（対象者への連絡）

		HbA1c 6.5~6.9	HbA1c 7.0以上	HbA1c8.0以上 服薬中	高血圧
対象者数		23人	6人	9人	3人
状況確認ができた人数		17人	5人	6人	2人
受診状況	すでに受診中(経過観察を含む)	—	3人	治療中断者0	1人
	受診拒否	—	1人	—	0
	医師連絡票発行数	—	1人	—	0
	その他	—	0	—	1人
生活の状況	生活習慣改善に取り組んでいる	11人	4人	4人	2人
	今後、改善する意思がある	5人	0	1人	0
	今後、改善する意思はない	1人	1人	1人	0
生活習慣改善支援	支援希望数	2人	0	1人	0
	支援実施(予定)数	(2人)	0	(1人)	0

## 4 がん検診

### (1) 目的

がんを早期発見し、適切な治療につなげることによりがんの死亡率を減少させる。

### (2) 検診の内容

種類	検査項目	委託機関 (検診機関数・実施期間)	対象者	自己負担金
胃がん検診	胃部 X 線撮影	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前 4 日間) 尾北医師会 (町内 6 医療機関)	20 歳以上	集団 1,000 円 個別 2,000 円
	胃部内視鏡検査	尾北医師会 (町内 5 医療機関)	40 歳以上	個別 2,000 円
大腸がん検診	便潜血反応	名古屋公衆医学研究所 尾北医師会 (町内 8 医療機関)	20 歳以上	集団 300 円 個別 500 円
子宮頸がん検診	視診、細胞診	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午後 4 日間) 尾北医師会 (町外 3 医療機関)	和暦偶数年 生まれの 20 歳以上	集団 800 円 個別 1,000 円
乳がん検診	乳房 X 線検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前午後 4 日間) 町内 1、町外 3 医療機関	和暦偶数年 生まれの 35 歳以上	集団 1,000 円 個別 1,500 円
	乳房超音波検査	名古屋公衆医学研究所 (1 会場・午前 4 日間) 町内 3、町外 3 医療機関	20 歳以上	集団 700 円 個別 1,500 円
肺がん検診	胸部 X 線検査 (喀痰検査)	名古屋公衆医学研究所 (11 会場・5 日間) 尾北医師会 (町内 8 医療機関)	20 歳以上 (50 歳以上で喫煙 指数 600 以上)	集団 200 円 個別 500 円 (集団 300 円、個別 1000 円)
前立腺がん検診	P S A 検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午後 2 日間)	50 歳以上	集団 300 円

### (3) 無料クーポン券事業対象者

対 象 者	検診の種類							
	男性 (人)	女性 (人)	胃 が ん	大 腸 が ん	子 宮 頸 が ん	乳 が ん	肺 が ん	前 立 腺 が ん
20 歳 平成 9 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日生	/	129	/	/	女性	/	/	/
40 歳 昭和 52 年 4 月 2 日～昭和 53 年 4 月 1 日生	182	149	●	●	女性	女性	●	/
45 歳 昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 48 年 4 月 1 日生	210	200	●	●	女性	女性	●	/
50 歳 昭和 42 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日生	170	158	●	●	女性	女性	●	男性
55 歳 昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 38 年 4 月 1 日生	142	151	●	●	女性	女性	●	男性
60 歳 昭和 32 年 4 月 2 日～昭和 33 年 4 月 1 日生	100	102	●	●	女性	女性	●	男性

\* 人間ドック受診者は無料クーポン券事業の対象外とした。



(4) がん検診実施状況

\*がん検診の対象者については、健康増進事業対象年齢の者とし、平成28年度までは推計対象者、平成29年度は4月20日時点の全住民を計上した。

ア 胃がん検診 (X線検査)

\* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
28	5,421	277 (320)	157 (186)	120 (134)	5.1	20 (22)	7.2 (6.9)	16 (17)	80.0 (77.3)	0 (1)	1 (1)	15 (15)
29	12,784	272 (302)	165 (193)	107 (109)	2.1	18 (19)	6.6 (6.3)	12 (13)	66.7 (68.4)	2 (3)	0 (0)	10 (10)
30	12,954	266 (290)	148 (168)	118 (122)	2.1	10 (12)	3.8 (4.1)	8 (10)	80.0 (83.3)	1 (3)	0 (0)	7 (7)

イ 胃がん検診 (内視鏡検査)

\* ( ) は50歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
28	4,893	441 (561)	/	441 (561)	9.0	179 (215)	40.6 (38.3)	179 (215)	100 (100)	0 (0)	1 (1)	178 (214)
29	8,985	464 (586)	/	464 (586)	5.2	197 (246)	42.5 (42.0)	197 (246)	100 (100)	5 (5)	2 (3)	190 (238)
30	9,134	470 (585)	/	470 (585)	5.1	133 (170)	28.3 (29.1)	133 (170)	100 (100)	0 (0)	0 (0)	133 (170)

\*H28年度から健康増進事業対象 (対象年齢50歳以上) となる

\*H27年度対象者は40歳以上の数

ウ 大腸がん検診

\* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
28	5,421	1,116 (1,184)	366 (417)	750 (767)	20.6	87 (89)	7.8 (7.5)	72 (73)	82.8 (82.0)	25 (25)	0 (0)	47 (48)
29	12,784	1,189 (1,250)	425 (481)	764 (769)	9.3	91 (95)	7.7 (7.6)	73 (74)	80.2 (77.9)	26 (27)	3 (3)	44 (44)
30	12,954	1,151 (1,200)	388 (429)	763 (771)	8.9	58 (58)	5.0 (4.8)	39 (39)	67.2 (67.2)	15 (15)	3 (3)	21 (21)

エ 子宮頸がん検診

\* ( ) は40歳未満を含む

(人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果					
		集団	医療機関						異常なし	上皮内病変	子宮頸がん	子宮体がん	その他のがん	その他の疾患
28	4,469	651 (220)	178 (220)	14.6	11 (6)	1.69 (2.73)	6 (1)	54.5 (16.7)	4 (1)	0	5	0	0	2
29	9,311	665 (213)	229 (213)	7.1	20 (6)	3.0 (2.8)	13 (1)	65.0 (16.7)	5 (0)	1	0	2	0	5
30	9,355	647 (200)	192 (200)	6.9	14 (2)	2.2 (1.0)	6 (0)	42.9 (0.0)	2	2	0	0	0	2

\*健康増進事業対象者及び受診者数は20歳以上。ただし、妊婦健診による子宮がん検診は20歳未満を含む。  
(H28:1人、H29:3人、H30:1人)

オ 乳がん検診 (視触診+マンモグラフィ検査)

\* ( ) は40歳未満を含む

(人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患
28	3,453	449 (491)	181 (211)	13.0	48 (50)	10.7 (10.2)	40 (42)	83.3 (84.0)	25 (25)	0 (0)	15 (17)
29	6,614	393 (435)	205 (235)	5.9	30 (31)	7.6 (7.1)	26 (27)	86.7 (87.1)	15 (16)	1 (1)	10 (10)
30	6,662	472 (502)	213 (233)	7.1	33 (33)	7.0 (6.6)	28 (28)	84.8 (84.8)	13 (13)	1 (1)	14 (14)

\*29年度から集団検診はマンモグラフィ検査のみ

カ 乳がん検診 (視触診+エコー検査)

\* ( ) は40歳未満を含む

(人)

年度	対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患
28	/	162 (248)	41 (88)	/	11 (15)	6.8 (6.0)	11 (15)	100 (100)	5 (8)	0 (0)	6 (7)
29	/	248 (322)	73 (115)	/	19 (22)	7.7 (6.8)	13 (15)	68.4 (68.2)	3 (4)	0 (0)	10 (11)
30	/	221 (289)	67 (109)	/	10 (12)	4.5 (4.2)	7 (8)	70.0 (66.7)	2 (2)	1 (1)	4 (5)

\*健康増進事業対象外

キ 肺がん検診（胸部X線検査）

\*（ ）は40歳未満を含む

（人）

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
28	5,421	1,213 (1,230)	439 (791)	22.4	9 (9)	0.74 (0.73)	8 (8)	88.9 (88.9)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	1 (1)
29	12,784	1,268 (1,292)	455 (473)	9.9	19 (19)	1.50 (1.47)	17 (17)	89.5 (89.5)	9 (9)	1 (1)	5 (5)	2 (2)
30	12,954	1,402 (1,418)	418 (430)	10.8	32 (32)	2.28 (2.26)	25 (25)	78.1 (78.1)	21 (21)	1 (1)	3 (3)	0 (0)

\*要精検者は胸部X線E判定（肺がんの疑い）の数

ク 肺がん検診（かくたん検査）

（人）

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
28	177	31	9	17.5	0	/	/	/	/	/	/	/
29	185	27	6	14.6	1	3.7	1	100	1	0	0	0
30	213	25	7	11.7	0	/	/	/	/	/	/	/

平成30年度 胸部X線写真読影D判定内訳

（人）

年齢	受診者数	検査判定区分				D判定者の精検結果					未受診・未把握
		D1	D2	D3	D4	異常なし	結核	がん	その他の疾患	診断保留	
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
45～49歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
50～54歳	5	0	2	0	3	1	0	0	0	0	4
55～59歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
60～64歳	4	0	0	0	4	2	0	0	0	0	2
65～69歳	5	0	1	0	4	1	0	0	0	0	4
70歳以上	18	0	6	7	5	6	0	0	4	1	7
合計	35	0	10	7	18	10	0	0	4	1	20

【胸部X線検査判定区分】

A：読影不能 B：異常なし C：異常を認めるが精査を必要としない  
 D1：治療を要する結核を疑う D2：肺炎、気胸など治療を要する状態を疑う  
 D3：心大血管異常で治療を要する状態を疑う D4：縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍など治療を要する状態を疑う  
 E：肺がんの疑い

ケ 前立腺がん検診

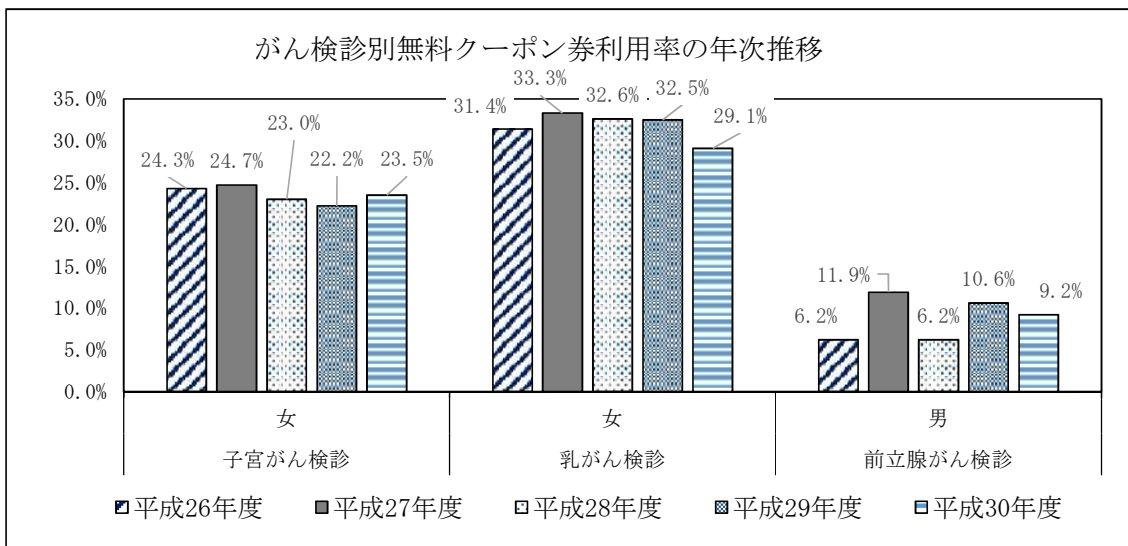
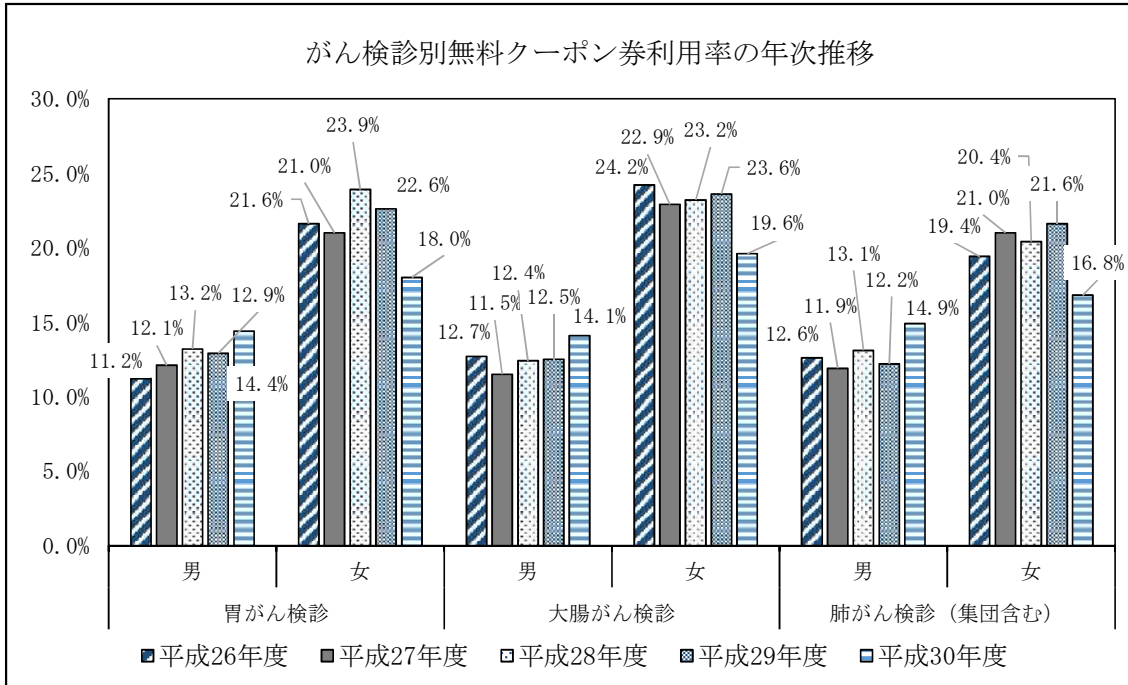
(人)

年度	対象者数	受診者数	受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
								異常なし	がん	その他の疾患
28	1,855	148	8	9	6.1	6	66.7	1	3	2
29	4,270	163	3.8	6	3.7	4	66.7	3	0	1
30	4,365	150	3.4	9	6	6	66.7	4	0	2

\*健康増進事業対象外

コ 無料クーポン券事業

一定の年齢の者にクーポン券を送付して受診を勧奨することで、検診受診の動機付けを行いがん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ることを目的として実施した。



## サ らん検診受診勧奨の効果検証

### (1) 実施目的

毎年行っている未受診勧奨をメディアの力を活用して効果的に勧奨する。がん検診全体において受診率は低く、目標のがん検診受診率50%には到底及ばない。また今年度5年目となるがん検診無料クーポン券事業は受診率が伸び悩んでおり、無料クーポン以外の効果的な受診勧奨方法を探る必要がある。

### (2) 実施方法

NHK「ガッテン！」乳がん特集の放送日（9月5日）に合わせて受診勧奨ハガキを8月22日に発送した。

送付ハガキは、6月11日付けで国立がん研究センター保健社会学研究部内「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診率向上プロジェクト」事務局より案内があったNHK「ガッテン！」乳がん検診特集を活用した受診勧奨企画にてプロジェクトの予算で印刷した資材を用いて、大口町の予算で発送した。

### (3) 実施対象者及び受診率

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| ①クーポン未受診者で和暦偶数年生まれ   | 362名（比較群 324名） |
| ②過去5年間未受診の者          | 305名（比較群 329名） |
| ③過去に受診歴のある人で今年度未受診の者 | 145名（比較群 110名） |

### (4) 結果

	受診勧奨対象者	比較群	受診者数 (11月末現在)	受診率 (11月末現在)	受診者数 (年度末)	受診率 (年度末)
①（勧奨群） クーポン未受診者で和暦偶数年生まれ	362		44	12.2	90	24.9
①（比較群） クーポン未受診和暦奇数年生まれ		324	25	7.7	66	20.4
②（勧奨群）過去5年間の未受診の者	305		12	3.9	22	7.2
②（比較群）過去5年間の未受診の者		329	5	1.5	6	1.8
③（勧奨群） 過去に受診歴のある人で今年度未受診の者	145		24	16.6	51	35.2
③（比較群） 過去に受診歴のある人で今年度未受診の者		110	8	7.3	11	10.0

### (5) 評価

- ・8月に実施した受診勧奨では、勧奨通知を送った群（勧奨群）と送らなかった群（比較群）を比べると全ての対象において勧奨群の受診率が高かった。
- ・①クーポン対象者の受診率は、勧奨した群（24.9%）と勧奨しない群（20.4%）で勧奨群が4.5%高かった。
- ・②5年間未受診の受診率は、勧奨した群（7.2%）と勧奨しない群（1.7%）で勧奨群が5.5%高かった。
- ・③過去受診歴のある者の受診率は、勧奨した群（35.2%）と勧奨しない群（10.0%）で勧奨群が25.2%高かった。
- ・①クーポン対象者の受診率よりも③過去に受診歴のある者の受診率の方が高く、一度受けた人は個別勧奨をすると再受診につながりやすいことが分かった（勧奨しないと受診しない）。
- ・②過去5年間未受診の者では、勧奨しなければ受診する可能性が低いこと、勧奨しても他の勧奨群に比べて受診率が低いことが分かった。
- ・これらのことから、限られた予算の中で勧奨する場合、クーポン未受診者へ再勧奨するよりも過去に受診した者に勧奨した方が効果的であると考えます。

## 5 わかば健康診査

### (1) 目的

すこやかで豊かな生涯を送るために、健康診査により生活習慣病を早期発見するとともに、若い年代から自分の健康状態を知ることによって生活習慣を見直す動機づけを図る。

### (2) 対象者

20・30歳代のうち会社・学校等で健康診査を受ける機会のない者（定員100人）

### (3) 実施日

平成31年1月20日（日） 午前9時～11時30分

### (4) 内容

身体計測（腹囲・身長・体重・BMI）、尿検査（尿糖・尿蛋白）、血圧測定、血液検査（脂質検査・貧血検査・肝機能検査・糖代謝検査・腎機能検査）、医師診察

### (5) 受診状況

（人）

年度末年齢	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	合計
男性	初回	0	0	0	2
	非初回	1	1	1	4
女性	初回	5	3	9	11
	非初回	0	2	6	22
					64

\*初回は過去3年間（27, 28, 29年度）に受診歴のない者、非初回は過去3年間（27, 28, 29年度）に受診歴のある者を計上。

### (6) 健診結果

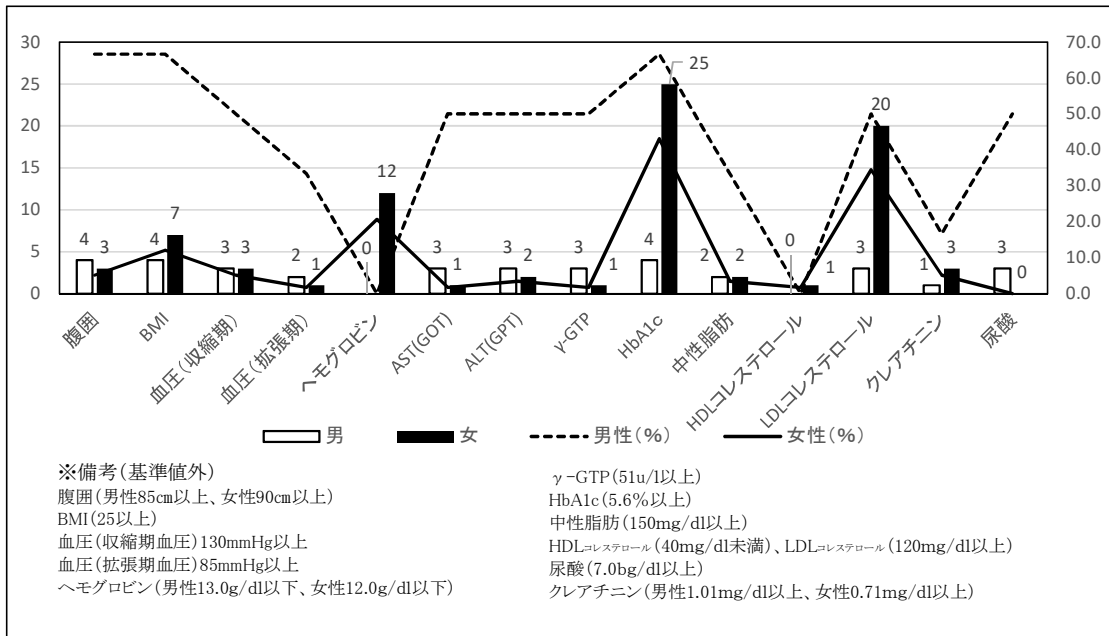
#### ① 総合判定（平成30年度）

（人）

	A 異常なし	B ほぼ異常なし	C 経過観察	D 要再検査	E 要精密検査	F 要治療	G 要継続治療
男性	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
女性	12 (20.7%)	20 (34.5%)	14 (24.1%)	4 (6.9%)	3 (5.2%)	5 (8.6%)	0 (0.1%)

#### ② 検査項目別結果（平成30年度）

（人）



#### ③ メタボリックシンドローム診断結果

（人）

	非該当	予備群	基準該当	判定不能
男	3 (50.0%)	1	2	0
女	56 (96.6%)	1	0	1

## 6 肝炎ウイルス検診

### (1) 目的

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、肝炎ウイルス検診の受診促進を図り、もって町民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け医療機関で受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減または進行の遅延を図る。

### (2) 対象者

- ・平成 30 年度において満 40 歳となる者
- ・平成 30 年度に満 41 歳以上となる者であって、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく本検診の受診を希望する者

### (3) 実施場所

大口町・扶桑町の委託医療機関

### (4) 実施期間

平成 30 年 7 月 2 日～10 月 31 日（ただし、大口町の胃がん検診（胃内視鏡検査）を受ける場合は大口町内の医療機関に限りがん検診実施期間中も可能。）

### (5) 内容

問診、B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査

### (6) 実施状況

(人)

年度	項目 区分	受診者	HB s 抗原検査		C 型肝炎ウイルス検査	
			陰性	陽性	現在 C 型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い	現在 C 型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い
28 年度	40 歳	36	36	0	36	0
	その他の年齢	99	99	0	99	0
	計	135	135	0	135	0
29 年度	40 歳	23	23	0	23	0
	その他の年齢	116	116	0	115	1
	計	139	139	0	138	1
30 年度	40 歳	19	19	0	19	0
	その他の年齢	92	92	0	92	0
	計	111	111	0	111	0

## 7 ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査

### (1) 目的

ヘリコバクター・ピロリ感染の有無とペプシノゲン判定による胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がんや胃潰瘍、慢性萎縮性胃炎などの胃疾患に罹るリスクを分類することで、必要な検査や治療につなげ胃がんの予防を図る。

### (2) 対象

40 歳以上の者

\*ただし、下記に該当するものは除く。

- ・勤務先等で検査を受ける機会のある者
- ・過去に大口町が実施する同検査を受けたことがある者
- ・ピロリ菌除菌治療を受けたことがある者
- ・食道・胃・十二指腸に関する疾患で治療中または手術歴のある者
- ・明らかな上部消化器症状があり胃や十二指腸の疾患が強く疑われる者
- ・プロトンポンプ阻害薬を服用中もしくは2か月以内に服用した者
- ・腎不全及び腎機能障害の者

### (3) 実施場所

大口町内委託医療機関

### (4) 実施期間

平成 30 年 7 月 2 日～10 月 31 日

### (5) 内容

問診、血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

### (6) 受診者数

(人)

年度	受診者数	A群	B群	C 1 群	C 2 群
28 年度	40	29	5	6	0
29 年度	43	30	9	3	1
30 年度	31	22	6	3	0

A 群：健康な胃粘膜で、胃疾患の危険度は低い。

B 群：消化性潰瘍など胃疾患の危険がある。(胃がんが発生することもある。)

C 1 群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患の高危険群。

C 2 群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患の、より高危険群。



## 8 骨密度測定（骨粗しょう症健診）

### (1) 目的

骨粗鬆症は寝たきりの要因となる骨折の基礎疾患となるため、早期に骨量減少者を発見し骨粗鬆症を予防する。

### (2) 対象者

20歳以上の者

### (3) 実施日

7月20日（金） 午前9時15分～11時・午後1時15分～3時  
10月19日（金） 午前9時15分～11時・午後1時15分～3時

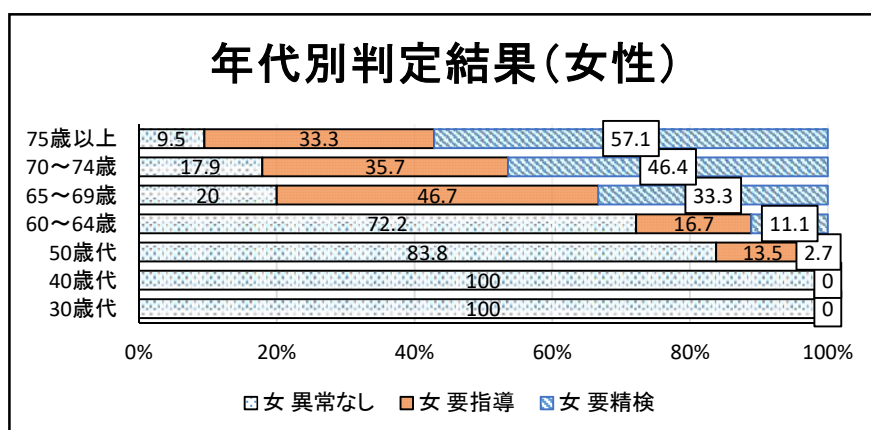
### (4) 内容

- ・前腕部エックス線検査による骨密度測定
- ・委託検査機関（半田市医師会健康管理センター）検査技師による結果説明
- ・委託検査機関（半田市医師会健康管理センター）医師による個別指導  
\* 要精検者及び希望者を対象として個別指導を行った。

### (5) 受診状況

(人)

判定	30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計		
	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	
男性	異常なし	0	0	1	0	0	0	8	1	14	2	23	3
	要指導	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1
	要精検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	異常なし	14	0	24	1	31	2	19	1	7	0	95	4
	要指導	0	0	0	0	5	3	17	7	17	12	39	22
	要精検	0	0	0	0	1	1	12	12	25	23	38	36
合計	14	0	25	1	37	6	57	22	64	37	197	66	



### (6) まとめ

65歳から異常ありの者が急増している。骨粗鬆症及び骨折による寝たきりの予防を図るため、異常ありの者には医師による個別指導を行った。要指導者の56.1%、要精検者の94.7%が指導を受け要精検者には医療機関受診勧奨をした。

## 9 健康教育

生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図ることを目的として健康教育を実施した。

### (1) 病態別健康教育

#### ア 糖尿病予防教室「血糖改善セミナー チャレンジコース」

##### ① 目的

調理実習を通して血糖値の改善につながる食習慣を身につける。

##### ② 対象者

平成 29 年度糖尿病予防教室事後教室（チャレンジコース運動編、栄養指導）参加者

##### ③ 周知方法

対象者に個別通知

##### ④ 実施場所

保健センター 栄養実習室

##### ⑤ 実施状況

実施日	内容	従事者	参加人数
4月12日(木) 午前9時30分～ 11時20分	バランス食の献立を学ぶ ・バランス食についての話 ・簡単！常備菜を作る	管理栄養士	65～74歳：7人 75歳以上：1人 計 8人

##### ⑥ まとめ

参加者から「この量なら食べられそう」「これなら簡単にできる」「家でも作ってみる」などの感想があった。調理実習を通してバランス食習慣化の動機づけができた。

### (2) 一般健康教育

#### ア 女性のための運動教室「スタイルアップ教室」

##### ① 目的

健康増進のための運動に関する知識を普及し、体を動かすことを通して運動する機会が少なくなっている女性が運動に関心を持ち、習慣的に運動する動機付けのために実施した。

##### ② 対象者

20歳～40歳代の女性

##### ③ 周知方法

広報(2月号)掲載、チラシ配布(乳幼児健診、児童センター)

##### ④ 実施場所

保健センター プレイルーム

⑤ 実施状況

実施回数：1クール3回

実施日	内 容	従事者	参加者人数
第1回 3月5日(火) 午前9時30分～ 11時30分	身体計測、血圧測定 姿勢チェック ストレッチ 筋力トレーニング	体操講師 保健師(健康生きがい課) 管理栄養士(健康生きがい課) 託児ボランティアグループ	12人 (託児7人) * 2人
第2回 3月12日(火) 午前10時～ 11時30分	血圧測定 ストレッチ 筋力トレーニング		7人 * 2人
第3回 3月26日(火) 午前10時～ 11時30分	身体計測、血圧測定 姿勢チェック エアロビクスダンス アンケート		9人 (託児7人) * 1人
食事編 3月29日(金) 午前10時～11時	講話「食事の適正量 を知ろう」	管理栄養士(健康生きがい課) 保健師(健康生きがい課)	3人 * 2人
合 計			31 (13) 人 * 7 (2) 人

( ) は実人数 \* 下段は40歳代(健康増進事業対象)の人数再掲

イ 衛生教育(依頼による健康教育等)

実施日	内 容(従事者)	対象者	依頼機関	参加者数
5月17日(木) 午前11時～11時20分	子育て講座「健康なこころとからだを育もう」 (保健師)	北保育園保護者	福祉こども課 保育所	77人
5月22日(火) 午前11時～11時20分		西保育園保護者		77人
5月23日(水) 午前11時～11時20分		南保育園保護者		90人
6月21日(木) 午前11時35分～ 午後0時10分	保健師さんの健康ワンプointレッスン 「子どもの虫歯予防と大人の 歯周病予防」(保健師)	親子ふれあい広 場参加者	特定非営利活動法人 子どもと文化の森	5組
7月19日(木) 午前11時35分～ 午後0時10分	保健師さんの健康ワンプointレッスン 「予防接種・熱中症予防」 (保健師)			0組
9月20日(木) 午前11時35分～ 午後0時10分	保健師さんの健康ワンプointレッスン 「子育て家庭の防災」 (保健師)			3組
10月18日(木) 午前11時40分～12時	保健師さんの健康ワンプointレッスン 「体力測定・運動」 (保健師)			3組

実施日	内 容 (従事者)	対象者	依頼機関	参加者数
9月7日(木) 午前8時30分～ 8時50分	元気体操指導(保健師、健康クラブ笑顔21、太極拳)	南小学校全校児童	南小学校	348人
5月13日(日) 午前11時10分～ 11時50分	講話「長生きのための秘訣」(地域包括支援センター保健師、町管理栄養士)	高齢者ふれあいの会参加者	大屋敷老人クラブ	60人
5月15日(火) 午前10時40分～正午	講話「消費者被害、フレイル予防」(地域包括支援センター社会福祉士・保健師、町保健師)	上小口寿楽会定例会参加者	上小口老人クラブ	71人
5月18日(金) 午前10時～11時	講話「フレイル予防で健康長寿」(地域包括支援センター保健師、町保健師)	秋田さわやかクラブ定例会参加者	秋田老人クラブ	63人
5月21日(月) 午前10時30分～ 11時35分	講話「介護予防、在宅医療」(地域包括支援センター社会福祉士・保健師、町保健師)	堀尾さくら会月例会参加者	豊田老人クラブ	53人
7月22日(日) 午後5時～5時30分	講話「食品衛生について」(管理栄養士、保健師)	さつきヶ丘納涼夏祭りスタッフ	さつきヶ丘区	50人
7月27日(金) 午前9時～ 午後0時30分	調理実習「低栄養予防の食事」(管理栄養士、保健師)	老人クラブ女性部	老人クラブ	21人
8月7日(火) 午前10時30分～12時	講話「健康長寿の秘訣お伝えします」(地域包括支援センター保健師、町保健師)	老人クラブ連合会会員	老人クラブ連合会	150人
8月20日(月) 午前10時15分～ 11時30分	講話「お口の健康」(地域包括支援センター保健師、町保健師)	堀尾さくら会会員	豊田老人クラブ	45人
10月21日(日)	南地域防災イベント「ポリ袋で作る非常食体験」(管理栄養士)	南地域区民	南地域自治組織	100人
11月26日(月) 午後1時～1時50分	講話「みなさんの健康の秘訣 教えてください」(地域包括支援センター保健師、町保健師)	外坪さわやかクラブ会員	外坪老人クラブ	58人
11月29日(木) 午前10時～11時30分	子育て支援者養成講座「子どもを取り巻く危険を知る」(保健師)	子育て支援活動従事者	NPO 法人子どもと文化の森	9人
10月23日(火) 午後1時45分～ 2時35分	就学時健診における保護者向け講演会「子どもと保護者の健康」(保健師)	小学校就学を控えた児童の保護者	北小学校	110人
平成31年 2月21日(木) 午後1時30分～3時	講話「認知症ってなあに! part2」(地域包括支援センター社会福祉士、町保健師)	中地域自治組織役員及び健康福祉部会委員、余野・垣田・さつきヶ丘区民	中地域自治組織健康福祉部会	35人

## 10 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を支援することを目的として実施した。

### (1) 保健師・管理栄養士による健康相談

ア 歩く健康の集い（ウォーキング前の健康相談及び準備体操）

- ① 実施日 毎月第2・4火曜日 午前9時～9時30分
- ② 従事者 保健師
- ③ 実施状況 実施回数23回

被指導者数（血圧測定）

40～64歳	65～74歳	75～79歳	80歳以上	合計
0人 (延0)	7人 (延45)	5人 (延34)	5人 (延70)	実人数17人 延人数149人

### イ 健康相談

- ① 実施日 定例日（毎月第2・4金曜日 午前9時30分～11時30分）及び定例日以外
- ② 被指導者数

従事者	保健師	管理栄養士
面接相談・被指導者数	46(63)人	10(19)人
電話相談・被指導者数	46人	3(5)人

\*面接相談の（ ）は被指導者延人数

\*管理栄養士面接相談者数は糖尿病予防教室の事後指導分を除く

### (2) 重点健康相談

ア 歯周疾患相談

- ① 実施日 7月20日（金）、8月3日（金）、8月6日（月）、8月30日（木）
- ② 内容 ペリオスクリーンによる歯周病のスクリーニング、歯みがき指導
- ③ 従事者 在宅歯科衛生士
- ④ 被指導者数 29人 \*うち健康増進事業対象者は15人  
(内訳は歯科保健活動「5 歯周病相談」に記載)

イ 骨粗鬆症相談

- ① 実施日 7月20日（金）、10月19日（金） 午前・午後
- ② 内容 骨密度測定結果に基づく保健指導
- ③ 従事者 検診実施機関の医師
- ④ 被指導者数 66人 \*うち健康増進事業対象者は12人  
(内訳は成人保健活動「8 骨密度測定」に記載)

## 1 1 家庭訪問

療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族に対して、保健師等が訪問して、対象者の家庭の健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的として実施した。

### (1) 従事者

保健師 管理栄養士

### (2) 実施状況

#### ① 被指導者数

( )延人数

区分	生活習慣病等 要指導者	介護・介護予 防等高齢者	精神保健福祉	その他	合計
保健師	7(7)人	0人	1(10)人	1(1)人	9(18)人
管理栄養士	0人	1(2)人	0人	0人	1(2)人

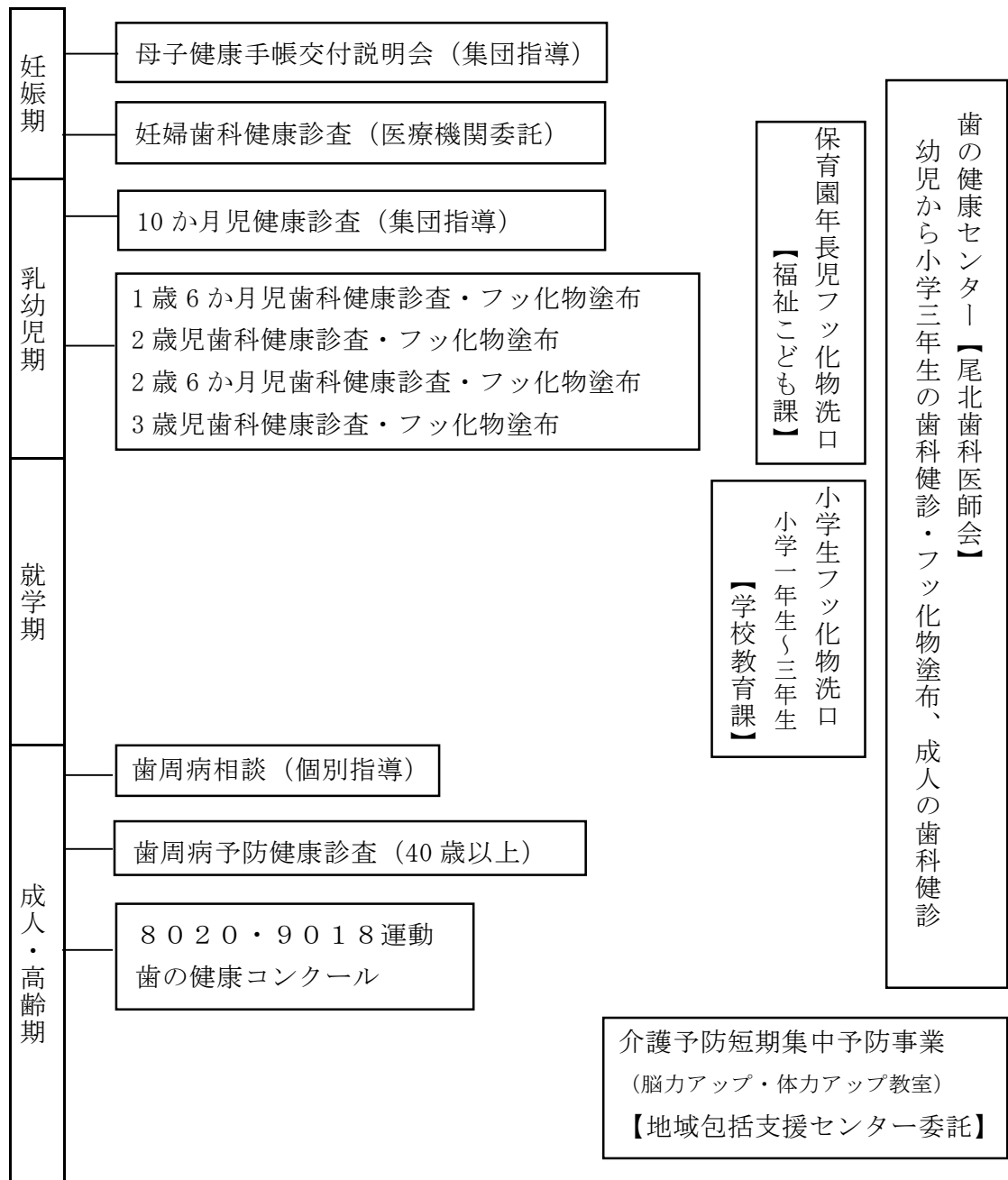
\*生活習慣病等要指導者は重症化予防事業被指導者を除く

## 4 齒科保健活動

# 1 歯科保健事業の取り組み

健康おおぐち 21 第二次計画の歯の健康目標である「いつまでも自分の歯でおいしく食べよう」「いつまでも明るく歯を見せて笑おう」「口腔機能を維持しよう」の達成に向けて、妊娠期から高齢期までのライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくり事業に取り組んだ。

## 歯科保健 管理体系





## 2 幼児歯科健康診査

生涯を通して歯・口腔の健康を保つため、成人の歯・口腔の基盤をかたちづくる時期である幼児期のう蝕を予防することを目的として、1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を実施した。フッ化物塗布時には歯科衛生士によるう蝕予防に関する知識、情報の提供等個別指導を行った。

### (1) 1歳6か月児歯科健康診査

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数				
H28	259	261	106	154	1	0	0	1	0.38%	2	0.01	255	34	37	0
H29	261	260	109	149	2	0	0	2	0.77%	7	0.03	250	40	42	0
H30	246	241	127	112	1	1	0	2	0.83%	10	0.04	220	22	17	0

### (2) 2歳児・2歳6か月児歯科健康診査

#### 【2歳児】

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数					
H28	260	238	81	153	3	1	0	4	1.68%	15	0.06	225	42	31	7	0
H29	257	246	67	176	2	1	0	3	1.22%	13	0.05	223	37	33	10	0
H30	256	233	89	143	1	0	0	1	0.43%	4	0.02	213	47	12	19	0

\*H28年度より2歳3か月児歯科健康診査は対象を拡大し2歳児及び2歳6か月児歯科健康診査として実施

#### 【2歳6か月児】

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数					
H28	136	84	32	51	0	1	0	1	1.19%	6	0.07	79	22	13	2	0
H29	262	168	53	111	4	0	0	4	2.38%	5	0.03	151	34	11	5	0
H30	265	188	60	125	3	0	0	3	1.60%	7	0.04	170	30	5	14	0

### (3) 3歳児歯科健康診査

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			0	A	B	C1	C2			総本数	1人あたり本数					
H28	218	215	198	12	5	1	0	18	8.37%	61	0.28	195	39	14	8	0
H29	284	288	267	16	4	0	1	21	7.29%	59	0.20	265	49	23	13	0
H30	271	261	240	15	5	0	1	21	8.05%	71	0.27	230	44	9	12	0

### 3 妊婦歯科健康診査

#### (1) 目的

歯周病に罹患しやすい妊娠期に歯科健康診査を実施することにより、妊婦の歯及び口腔の疾患を予防するとともに、生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を図る。

#### (2) 実施内容

母子健康手帳の交付を受けた妊婦に対し、受診票を発行し妊婦歯科健診費用 1 回分を全額助成した。

＜健診内容＞歯周病予防健康診査、健診結果説明、口腔衛生指導

#### (3) 実施場所

尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関（9 か所）

#### (4) 実施状況

##### ① 健診結果

\*H28 年度歯周疾患判定者は歯周コード 3 以上の者

区分 年度	対象者数 *妊娠届出数 (人)	受診者数 (人)	平均 現在歯数 (本)	平均 健全歯数 (本)	平均 処置歯数 (本)	平均 未処置歯数 (本)	歯周疾患 判定者数 (人)
H28	240	88(36.7%)	28.2	19.4	7.6	1.2	20
H29	240	90(37.5%)	28.6	19.6	0.8	8.2	
H30	220	70(31.8%)	28.2	20.0	7.0	1.2	

#### ＜総合判定＞

(人)

年度	異常なし	要指導	要精検
H28	14(15.9%)	16(18.2%)	58(65.9%)
H29	11(12.2%)	32(35.6%)	47(52.2%)
H30	4(5.7%)	30(42.9%)	36(51.4%)

\*H28 年度は旧判定基準による判定

#### ＜C P I 判定＞

(人)

年 度	歯肉出血あり(歯 周ポケットなし)	歯周ポケット	
		浅いポケット 4 mm～5 mm	深いポケット 6 mm以上
H29	37(41.1%)	25(27.8%)	7(7.8%)
H30	30(42.9%)	25(35.7%)	1(1.4%)

#### ＜問診結果＞

(人)

年度	喫煙		8020 運動	喫煙と歯周病 の関係	過去 1 年間の 健診	歯間ブラシの 使用
	なし	過去にあり	知っている	知っている	受診	使っていない
H29	77(85.6%)	13(14.4%)	51(56.7%)	41(45.6%)	51(56.7%)	52(57.8%)
H30	56(80.0%)	14(20.0%)	34(48.6%)	29(41.4%)	32(45.7%)	33(47.1%)

#### (5) まとめ

受診者の平均年齢は 31.8 歳。受診者のうち 26 人 (37.1%) に歯周ポケットが認められた。問診では、「8020 運動を知っている者」、「喫煙と歯周病の関係について知っている者」、「過去 1 年間に歯科健診を受けた者」の割合が平成 29 年度と比較して減少した。歯と口の健康づくりに関する知識や定期的な歯科健診の受診について、妊娠期からのさらなる啓発が必要である。

## 4 歯周病予防健康診査

### (1) 目的

40歳以上の町民に歯周病予防健康診査を実施することにより、歯周病の早期発見、早期治療を促し、歯の喪失予防や口腔機能の維持向上のための口腔衛生の向上を図る。

### (2) 実施内容

40歳以上の町民に対し、歯周病予防健診費用1回分を全額助成した。

<健診内容> 歯周病予防健康診査、健診結果説明、口腔衛生指導

\*平成30年度より基本チェックリストの口腔機能3項目を問診に追加した。

### (3) 実施場所及び実施期間

尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関（9か所）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### (4) 実施状況

#### ① 性別・年代別受診者数

\*（ ）は健康増進事業対象受診者数を再掲

性別	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
男性	13(10)人	7(6)人	9(3)人	21(14)人	2人	52(33)人
女性	8(4)人	13(9)人	11(7)人	23(16)人	1人	56(36)人

#### ② 健診結果

\*平成28年度歯周疾患判定者は歯周コード3以上の者

区分 年度	受診者数 (人)	平均 現在歯数 (本)	平均 健全歯数 (本)	平均 処置歯数 (本)	平均 未処置歯数 (本)	歯周疾患 判定者数 (人)
H28	165	26.2	11.7	13.8	0.6	33
H29	167	26.4	11.7	14.1	0.5	
H30	108	26.2	12.5	13.0	0.7	

#### <総合判定>

(人)

年度	異常なし	要指導	要精検
H28	11(6.7%)	68(41.2%)	86(52.1%)
H29	6(3.6%)	74(44.3%)	87(52.1%)
H30	10(9.3%)	31(28.7%)	67(62.0%)

#### < C P I 判定 >

(人)

年 度	歯肉出血あり(歯 周ポケットなし)	歯周ポケット	
		浅いポケット 4mm~5mm	深いポケット 6mm以上
H29	82(49.1%)	46(27.5%)	10(6.0%)
H30	39(36.1%)	38(35.2%)	11(10.2%)

\*H28年度は旧判定基準による判定

#### <問診結果>

(人)

年度	喫煙		8020運動	喫煙と歯周病 の関係	過去1年間の 健診	歯間ブラシの 使用
	あり	過去にあり	知っている	知っている	受診	使っていない
H29	16(9.6%)	40(24.0%)	120(71.9%)	69(41.3%)	101(60.5%)	47(28.1%)
H30	8(7.4%)	30(27.8%)	85(78.7%)	38(35.2%)	55(50.9%)	35(32.4%)

③ 65 歳以上受診状況

(人)

性別	受診者数	基本チェックリスト			
		口腔機能低下該当者 (2項目以上)	固いものが食べにくい	汁物等でむせる	口の渇きが気になる
男性	25	2(8.0%)	6	3	4
女性	25	9(36.0%)	10	7	10
合計	50(46.3%)	11(22.0%)	16	10	14

(5) まとめ

歯周炎（歯周ポケット4mm以上）を有する者の割合が45.4%で平成29年度より増加した。口腔機能の低下予防を目的とした基本チェックリストでは、65歳以上受診者の22%が口腔機能の低下に該当した。今後も、歯周病や口腔機能の低下を早期発見するための定期的な歯科健診を啓発する必要がある。

## 5 歯周病相談

(1) 目的

歯周病の罹患が急増する40歳以降の町民に対し、歯間部清掃用具の活用や定期的な歯科検診の受診等歯周病予防に関する適切な口腔管理について指導することにより、歯周病予防健診受診者の増加及び歯周病の有病者の減少を図る。

(2) 実施内容

集団がん検診の待ち時間を利用し、歯科衛生士によるペリオスクリーン検査（唾液中潜血検査）、口腔衛生指導を実施した。

(3) 実施日時

7月20日（金）午前9時30分～11時30分（乳がん検診、骨粗しょう症健診会場）

8月3日（金）午前9時30分～11時30分（胃がん検診会場）

8月6日（月）午後1時30分～3時30分（肺がん・前立腺がん検診会場）

8月30日（木）午後1時30分～3時30分（乳がん・子宮頸がん検診会場）

(4) 実施状況

(人)

年齢	相談者数	男性		女性	
		実施者数	ペリオスクリーン 陽性者（再掲）	実施者数	ペリオスクリーン 陽性者（再掲）
40歳未満	1	0		1	1
40歳～64歳	15	3	2	12	8
65歳～74歳	8	4	3	4	2
75歳以上	5	1	1	4	4
合計	29	8	6	21	15

(5) まとめ

相談者のうち 21 人 (72.4%) に唾液中の出血反応が認められた (H29 年度は 83.3%)。ペリオスクリーン陽性者で歯の健康づくり得点の「歯ぐきから血が出ることがありますか」の項目に「はい」とチェックした者は 7 人であった。歯肉出血の自覚症状がない者に対し、歯周病のリスクと予防について啓発するよい機会となった。

はちまるにいまる きゅうまるいちほち  
6 8020・9018 運動 歯の健康コンクール

「80 歳になっても 20 本以上自分の歯を残そう」という「8020 運動」の一環として、8020 運動歯の健康コンクールを開催し、8020 (80 歳以上で 20 本歯以上)、9018 (90 歳以上で 18 本歯以上) の達成者を表彰した。

(1) 実施方法

広報や老人クラブ連合会等で対象者を募集し、尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関において審査を実施した。11 月 11 日 (日) 尾北歯科医師会主催の「歯の健康センター」において表彰式を開催した。

(2) 8020・9018 達成者

8020 達成者 : 15 人 (男性 7 人、女性 8 人) 9018 達成者 : 1 人 (男性 1 人)

7 歯と口の健康週間 (歯の健康センター)

歯と口の健康週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を県民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって県民の健康の保持増進に寄与することを目的として、日本歯科医師会、愛知県歯科医師会、地区歯科医師会において実施される。尾北歯科医師会では、平成 30 年 6 月 10 日 (日) と 11 月 11 日 (日) の 2 日間を実施日とし、歯の健康センターが開設された。

(1) 実施場所 大口町保健センター

(2) 対象者 乳幼児及び小学 3 年生までの児童、一般成人

(3) 実施内容 歯科健康診査、フッ化物塗布 (子ども)、健康相談

(4) 従事者 尾北歯科医師会、愛知県歯科衛生士会尾張北部支部、健康生きがい課

(5) 実施状況 (人)

年度	実施時期	受診者数	内 訳	
			子ども	成人
H30	6 月	118	102	16
	11 月	128	106	22

## 8 歯の健康づくり得点

町民自身が歯を失わないための生活習慣ができているかセルフチェックをし、点数に従ったアドバイスを参考に生活習慣の改善を促すことを目的として、歯周病予防健診の受診者を始め、健康教育や歯科相談の参加者に歯の健康づくり得点チェックシートを配布し活用した。

### (1) 歯の健康づくり得点結果

(人)

質問項目	歯周病予防健診		妊婦 歯科健診	歯科 相談	健康まつり 衛生教育等	合計
	男性	女性				
歯ぐきが腫れる	19	11	19	5	0	54
歯がしみる	22	18	20	10	0	70
間食をよくする	25	34	50	17	0	126
趣味がない	14	10	27	3	0	54
かかりつけ歯医者なし	16	9	36	5	0	66
治療は早めに受けない	18	14	25	12	0	69
歯ぐきから血が出る	14	15	41	9	0	79
歯みがき1日2回未満	9	5	4	0	0	18
自分の歯ブラシがない	0	1	0	0	0	1
たばこを吸う	6	2	0	0	0	8
16点以上者数	17	28	18	14	0	77(37.2%)
実施者数	52	56	70	29	0	207

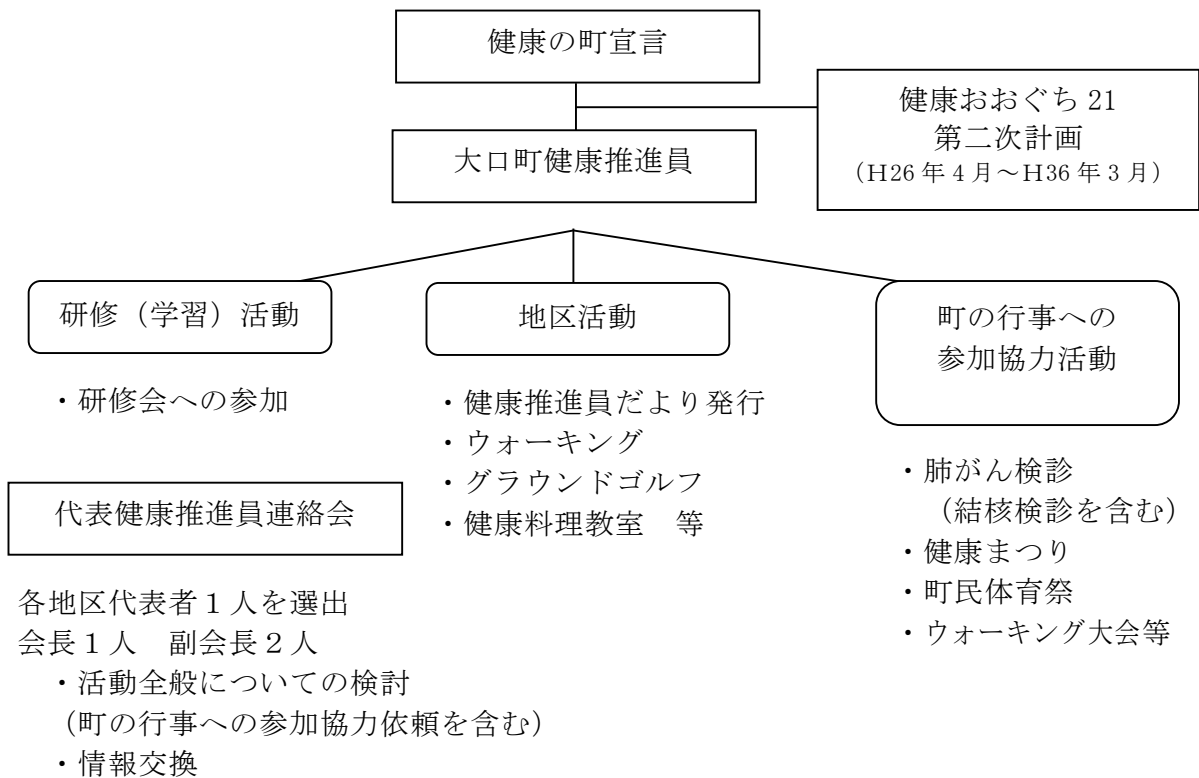
\*16点以上は歯を失うリスクが低いと判定される。

## 5 健康推進事業

# 1 健康推進員活動

平成5年12月議会において「大口町健康の町宣言」が議決された。平成7年6月には、健康の町宣言事業の一環として、健康で幸せな生活を送るために、地区住民の健康意識を高め、地区活動を積極的に推進することを目的として、健康推進員制度が設置された。

平成25年4月に大口町健康推進員設置要綱の任期を3年から2年に変更した。平成30年度は第9期2年目。健康推進員研修会への参加や区の活動に協力すること以外に、地区活動では、ポールウォーキングや「いきいき100歳体操」などを継続しつつ、健康づくりのきっかけとなる活動を地区ごとに工夫して実施した。「健康おおぐち21第二次計画」は推進5年目となり、計画の周知と生活習慣の見直しを促す健康教育を健康推進員の研修会に組み込み啓発を図った。





(1) 健康推進員全体活動

実施日	内 容
11月3日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいまつり 2018 にてウォーキング大会開催(参加者 341 人)</li> <li>・健康まつりへの参加</li> </ul> 「健康おおぐち 21 第二次計画の推進」各ブースへの協力

(2) 健康推進員研修会実施状況(計6回実施)

今年度は任期 2 年目であるため、健康推進員本人への健康づくりと「健康おおぐち 21 第二次計画」の啓発を目的に研修会を実施した。

実施日	内 容	講 師	参加人数
平成 30 年 4月20日(金)	認知症サポーター養成講座「認知症を学び 高齢者を支えよう」 地域包括ケアシステムについて	地域包括支援センター 健康生きがい課職員	38 人
6月15日(金)	運動講義・実技 「生活に運動を取り入れよう!いきいき 100 歳体操体験」	NPO 法人ウィル大ロ スポーツクラブトレーナー	32 人
8月29日(水)	講義 「家庭でできる脳生き生きトレーニング」 ～認知症予防に向けて～	日本福祉大学社会福祉 総合研修センターより派遣	34 人
9月16日(日)	視察研修 あいち健康プラザ	健康生きがい課職員	27 人
平成 31 年 1月18日(木)	講義 「健康寿命を延ばす口腔ケア」	日本福祉大学社会福祉 総合研修センターより派遣	28 人
3月19日(火)	活動報告会及びお疲れ様会	健康生きがい課職員	46 人

その他、健康推進員の研修の一環として「まちづくり座談会」を案内し、第 1 回 25 人、第 2 回 15 人が出席した。

(3) 代表健康推進員連絡会実施状況(計6回実施)

実施日	主 な 内 容
平成 30 年 4月16日(月)	平成 30 年度代表健康推進員役員選出について 平成 30 年度地区活動計画について 健康推進員活動交付金について 地区巡回肺がん検診への協力について 年間研修会計画について
6月18日(月)	平成 30 年度地区活動事業計画について 結核肺がん検診の実績報告について(反省会) 健康まつり時ウォーキング大会について
9月3日(月)	ウォーキング大会について ・雨天時の判断、参加記念品、スタート時間、ゴール位置等 健康まつりへの協力について 第 10 期健康推進員の選出について 活動交付金の使用について 健康おおぐち 21 第二次計画 中間評価について

実施日	主 な 内 容
10月15日(月)	ウォーキング大会について ・コース設定、募集チラシと参加者の締切、役割分担(案)等 健康まつりについて 地区活動の中間報告及び会計報告について
11月12日(月)	ウォーキング大会・健康まつりの反省会 地区活動の中間報告及び会計報告について 第9期健康推進員活動報告会について
平成31年 2月18日(月)	第9期健康推進員活動報告会について 平成30年度地区活動実績報告について 第10期推薦状況について

(4) 地区自主活動の状況

地 区	活 動 状 況
秋 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田グラウンドゴルフ練習(毎週月曜日) 毎回40~50人</li> <li>・太極拳教室(毎月第2、第4金曜日) 毎回20人程度</li> <li>・地区肺がん検診(結核検診を含む)の周知啓発と当日支援 50人</li> <li>・秋田区ウォーキングバスツアー 43人</li> <li>・秋田区町民盆踊り大会(綿菓子作り、抽選会手伝い)</li> <li>・秋田秋季グラウンドゴルフ大会 59人</li> <li>・健康まつりウォーキング大会 25人</li> <li>・秋田グラウンドゴルフ春季大会 76人</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
豊 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しなやかお達者の会参加(毎月2回・年間24回)</li> <li>・ごきぶり団子づくり 30人</li> <li>・結核肺がん検診の当日支援</li> <li>・早朝ラジオ体操(7月下旬4日間)</li> <li>・地区盆踊り練習参加(2回)</li> <li>・町民体育祭への参加</li> <li>・健康まつりウォーキング大会 50人</li> <li>・健康料理教室「野菜たっぷり減塩料理」 25人</li> <li>・健康太極拳体験会 15人</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
大屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区肺がん検診(結核検診を含む)の周知啓発と当日支援 24人</li> <li>・ゴキブリ団子作り 38人</li> <li>・早朝ラジオ体操会 大人80人、小学生・幼児488人</li> <li>・地区盆踊り大会練習(3回) 両日とも50人</li> <li>・地区盆踊り大会支援 500人</li> <li>・町民体育祭支援・競技参加 200人</li> <li>・健康まつり・ウォーキング大会 47人</li> <li>・健康講座いきいき100歳体操・お楽しみ会(2回) 延べ69人</li> <li>・地区防災の対策会支援 120人</li> <li>・健康太極拳体験会 23人</li> <li>・老人会サロン支援、花餅づくり・認知症サポーター養成講座 16人</li> <li>・健康推進員だより発行(年4回)</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ(随時)・新旧引き継ぎ会</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>

地 区	活 動 状 況
外 坪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親善グランドゴルフ大会 18 人</li> <li>・グランドゴルフ練習（毎月第 3 水曜日） 延べ 69 人</li> <li>・ポールウォーキング（毎月第 1 日曜日） 延べ 75 人</li> <li>・地区別対抗グランドゴルフ大会参加 29 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 45 人</li> <li>・大口町グランドゴルフ大会</li> <li>・盆踊り（練習 4 日間、当日準備等）</li> <li>・町民体育祭協力 9 人</li> <li>・健康まつり、ウォーキング大会 34 人</li> <li>・いきいき健康体操（2回） 延べ 64 人</li> <li>・外坪地区ふれあいウォーキング 48 人</li> <li>・カントリーダンス研修視察参加 5 人</li> <li>・グランドゴルフ大会</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
河 北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山城ウォーキング 28 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・健康ボウリング大会 26 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 33 人</li> <li>・カントリーダンス 14 人</li> <li>・かんたんエアロ&amp;「ストレッチ」 24 人</li> <li>・ポールウォーキング（毎週火曜 19:30～）</li> <li>・陽だまりの会（毎月第 2 水曜日） 40～70 人</li> <li>・北地域自治組織（福祉事業部会）不定期</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
余 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム体操（月 2 回） 毎回 15～20 人</li> <li>・ごみゼロ運動 6 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・グラウンドゴルフ大会（グラウンドゴルフ同好会と共催） 49 人</li> <li>・余野夏祭り実行委員会への参加・模擬店の出店</li> <li>・大口町トレーニングセンター体験会 2 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 32 人</li> <li>・区民ふれあいグランドゴルフ大会 46 人</li> <li>・健康料理教室 23 人</li> <li>・リズム体操懇親会 27 人</li> <li>・健康ボウリング教室 27 人</li> <li>・余野区ウォーキング大会（雨天のため中止）</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせのための定例会（月 1 回）</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> <li>・年度末反省会、新旧引継ぎ会</li> </ul>

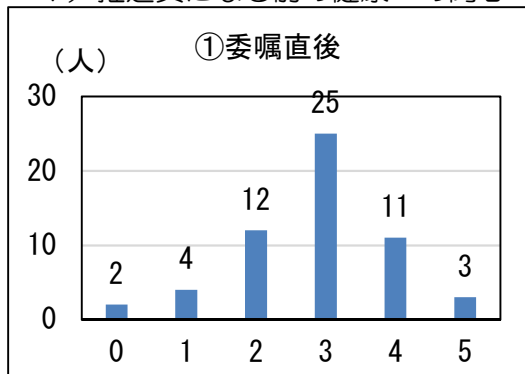
地 区	活 動 状 況
上小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポールウォーキング（全 27 回） 延べ 184 人</li> <li>・ナイトウォーキング（全 6 回）</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ポケットパーク草取り（全 2 回）</li> <li>・町民体育祭参加</li> <li>・盆踊り練習（2 回）、盆踊り大会</li> <li>・早朝ラジオ体操に参加（8/27～8/29）</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会（上小口 19 人・萩島 6 人） 25 人</li> <li>・区民歩け歩け大会に参加、ポールウォーキングの紹介 81 人</li> <li>・犬山ウォーキング大会 33 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ(随時)</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
中小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操（毎週火曜日）午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分 毎回 15 人前後</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・貯筋体操講座 32 人</li> <li>・体力測定（ちとせ会主催での協賛参加） 29 人</li> <li>・盆踊り練習(2 回)（盆踊り運営委員会主催） 延べ 83 人</li> <li>・盆踊り大会（盆踊り運営委員会主催） 150～180 人前後</li> <li>・ファミリーウォーキング大会 41 人</li> <li>・健康講話（今井医院 今井先生） 35 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 30 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ(随時)</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
下小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨガ教室（全 7 回） 210 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・地区盆踊り大会練習参加 会場設営等支援</li> <li>・犬山城下町・有楽園散策 21 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 45 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> <li>・期末反省会、新旧引継ぎ会</li> </ul>
垣 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドゴルフ練習（有志）</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・グラウンドゴルフ大会、ウォーキング大会(同時進行)（2 回） 10 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 6 人</li> <li>・昭和村下見 2 人</li> <li>・犬山城下ウォーキング 10 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>
さつき ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき 100 歳体操の奨励（毎週水曜日） 毎回 40 人</li> <li>・犬山城下町散策 24 人</li> <li>・高齢者体力測定受付 41 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 35 人</li> <li>・バスハイキング池の平諏訪大社 43 人</li> <li>・子ども会夏休みラジオ体操支援（7/24～7/28・8/22～26） 延べ 320 人</li> <li>・さつきヶ丘納涼祭り手伝い 延べ 400 人</li> <li>・町民体育祭参加協力 120 人</li> <li>・さつきヶ丘 A E D 講習会参加 24 人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 25 人</li> <li>・料理教室 32 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> <li>・健康推進員研修会の出席</li> </ul>

(5) 第9期健康推進員アンケートの結果

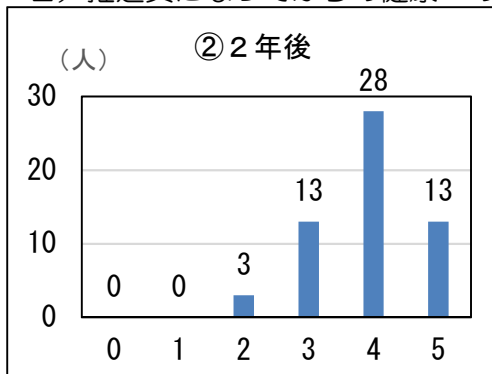
(第9期 任期終了時) アンケート回収率100%

1. この2年間で、ご自分の健康に関する意識や関心は高まりましたか？

1) 推進員になる前の健康への関心

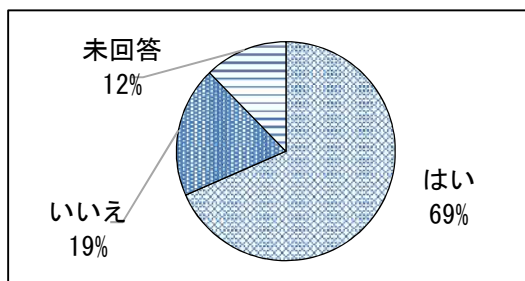


2) 推進員になってからの健康への関心



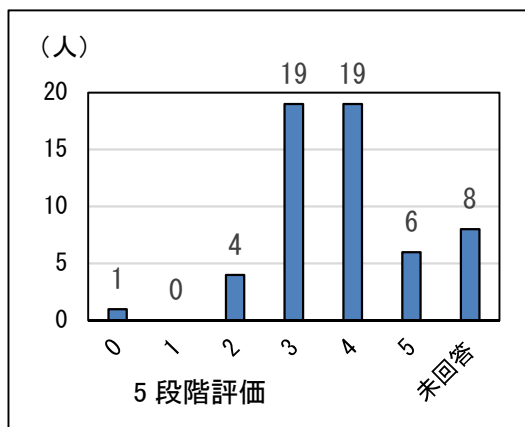
1段階 up 15人  
2段階 up 18人  
3段階 up 3人  
4段階 up 0人  
差がない人 21人  
(5→5) (4→4)

3) この3年間で健康に関してあなたの行動が変化しましたことがありますか？



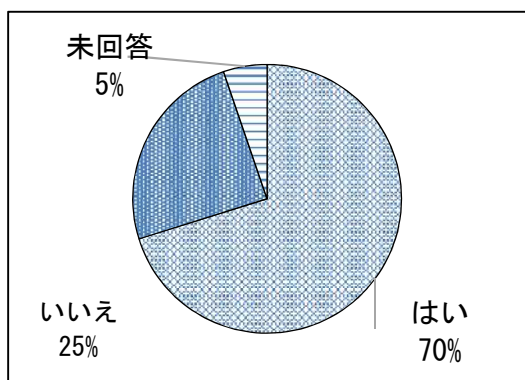
【変化した理由】  
体力・筋力を意識して生活すること  
近所に行くときは徒歩や自転車で行くようになった  
栄養バランスを考えるようになった  
健康診断を受けるようにした  
「健康は幸せ」と考えられるようになった  
酒の量、食事が少し変わってきた・・・などなど

2. この2年間で地区の健康づくり活動に取り組んで達成感がありましたか？



【好評だった活動・思い出に残っている活動】(抜粋)  
・健康まつり時ウォーキング大会  
・健康まつりのボランティア活動  
・料理教室  
・区で行った講座(ウォーキング、ポールウォーキング、バスウォーキング、いきいき100歳体操、リズム体操、ボウリング、ヨガ、太極拳、盆踊り、お楽しみ会、クリスマス会など)(健康体操の仲間に入れたこと、お子さんからお年寄りまで参加できたこと、指導者になったこと)

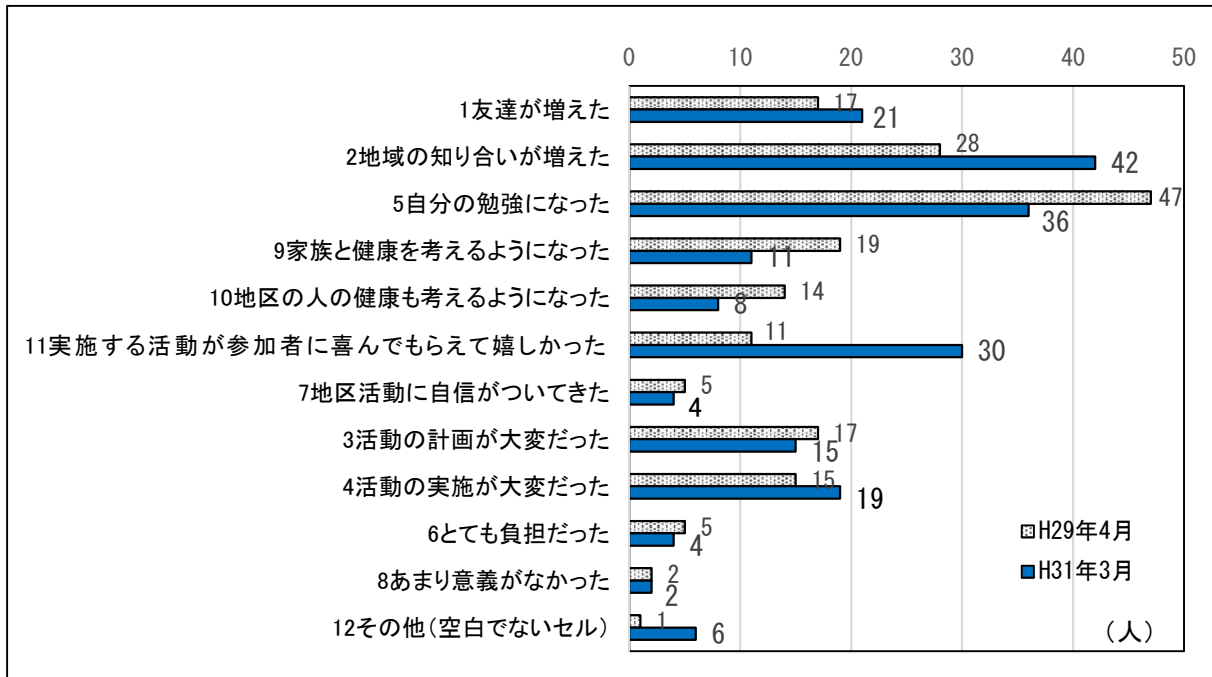
3. あなたは現在、健康的な生活をしていると思いますか？



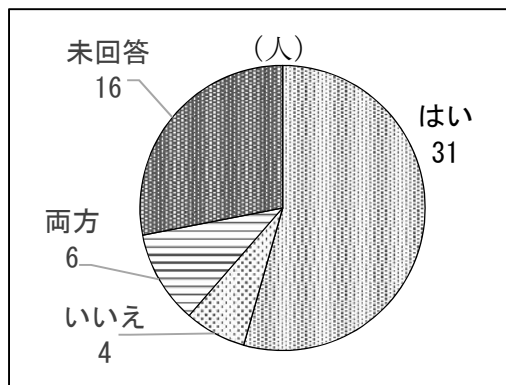
【はいの理由】(抜粋)  
・規則正しい、運動、食生活に気をつけている  
・仕事をしていること  
・ウォーキング、水泳、ヨガ、ジム  
・定期的に検診を受けている  
【いいえの理由】(抜粋)  
・運動不足  
・食事のバランス、過食、間食 など

4. 健康推進員になっていかがでしたか？該当するところに○を付けてください（複数可）。

平成29年4月の委嘱状交付直後と平成31年3月の任期終了直前を比較



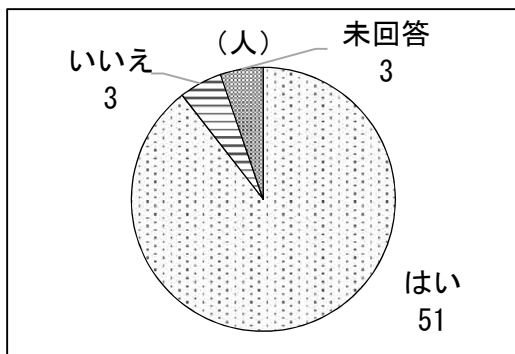
5. 地区代表や会計など各地区1年ごとに輪番で交代しながら推進活動をしてきましたが、2年間の中で地区活動の継続や企画・運営は協力してスムーズに行えましたか？



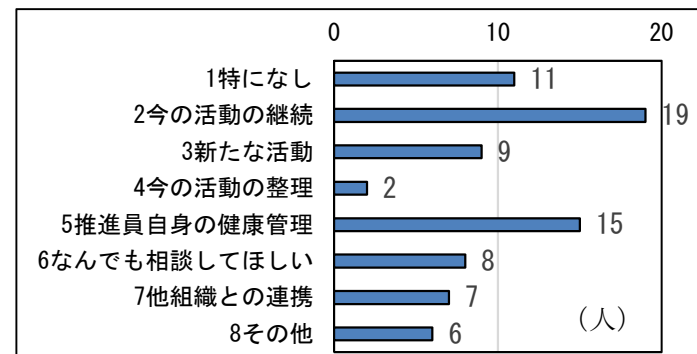
【両方の理由】

- ・1年目は反省点もあったが2年目は何とかできた。
- ・早め早めに準備した。参加者が見込めない活動でもいろいろ試してみれば思いがけない成果があったかも。
- ・直接会話を持つと理解が深まったかもしれないが十分に話し合う時間はお互い事情があり集まらない。メールや紙面を活用し伝達した。
- ・リーダーについていくのが精一杯で迷惑をかけた。
- ・問題なくできたが、参加できない行事があった。

6. 2年間で健康推進員さん同士の仲間意識は深まりましたか？

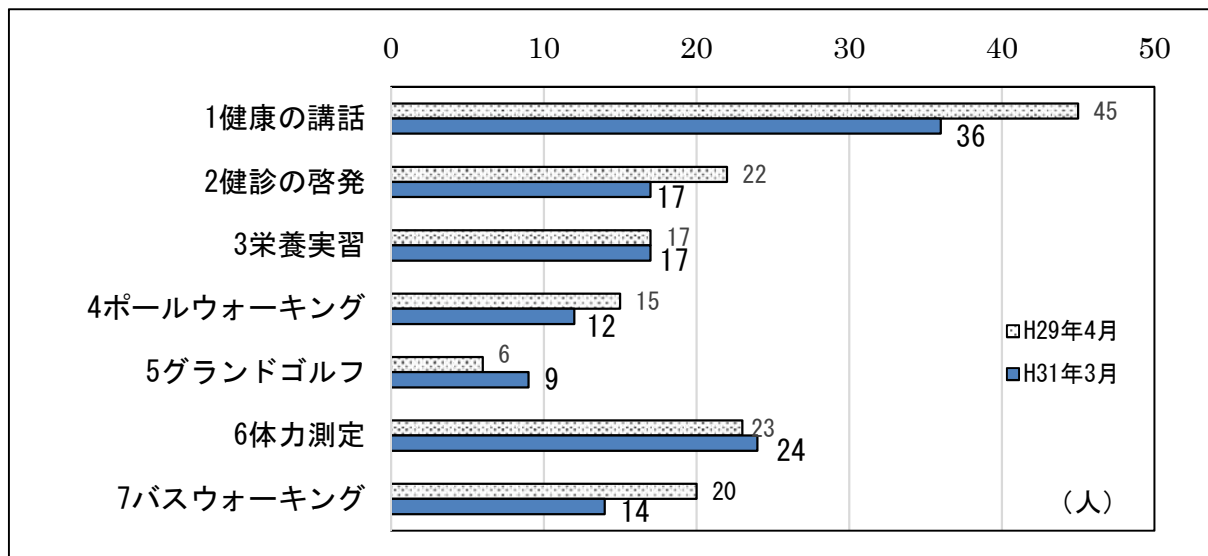


7. 次期の健康推進員さんに期待すること、アドバイスをお聞かせください（複数可）。

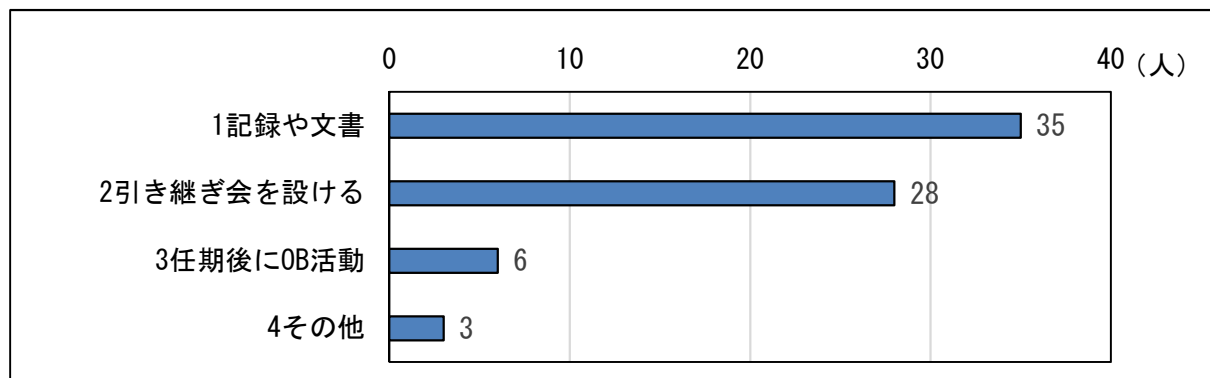


8. 推進員活動として地域住民を対象に活動することが有効だと思うことをご記入ください（複数可）。

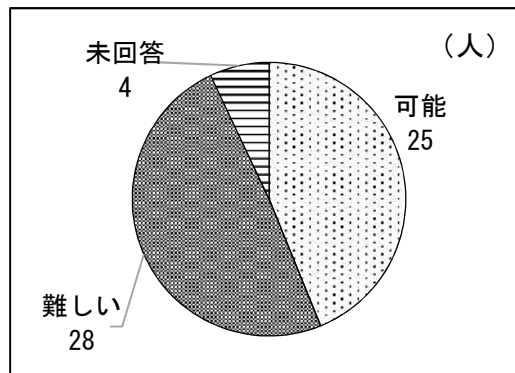
平成29年4月の委嘱状交付直後と平成31年3月の任期終了直前を比較



9. 今後も地区活動を継続するために、次期の健康推進員への引き継ぎをどのようにしたらよいと思いますか？（複数可）



10 健康推進員の任期終了後にOBとして新規推進員をサポートすることは可能ですか？



- ・できる範囲で可能。
- ・経験談としてお話することはできる。
- ・私ができることは参加したい。
- ・サポートするというより活動に参加する形で協力は可能。
- ・協力可能。もっとOBの方々もいろんな活動に参加してほしい。

## 2 健康おおぐち 2 1 第二次計画の推進

平成 26 年 3 月に、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間を計画期間とする「健康おおぐち 21 第二次計画」を策定した。第二次計画では、「健康で笑顔の大口 みんな元気 ずっと元気!! 見直そう 生活習慣」を大目標に掲げ、健康寿命の延伸を目指し、「①生活習慣の見直し、②生活習慣病の発症予防と重症化予防、③元気を支えるまちづくり」を基本目標として、町民が健康づくりに関心を持って主体的に実践できるよう、健康づくり事業の周知啓発、地区活動の推進、ボランティア活動の支援及び人材育成事業の取組を進めている。

また、平成 30 年度は計画の中間年度であったため、アドバイザーの支援を受けながら、中間評価を行い、今後 5 年間の健康づくりの方向性と目標達成に向けての内容の充実化を掲げた。

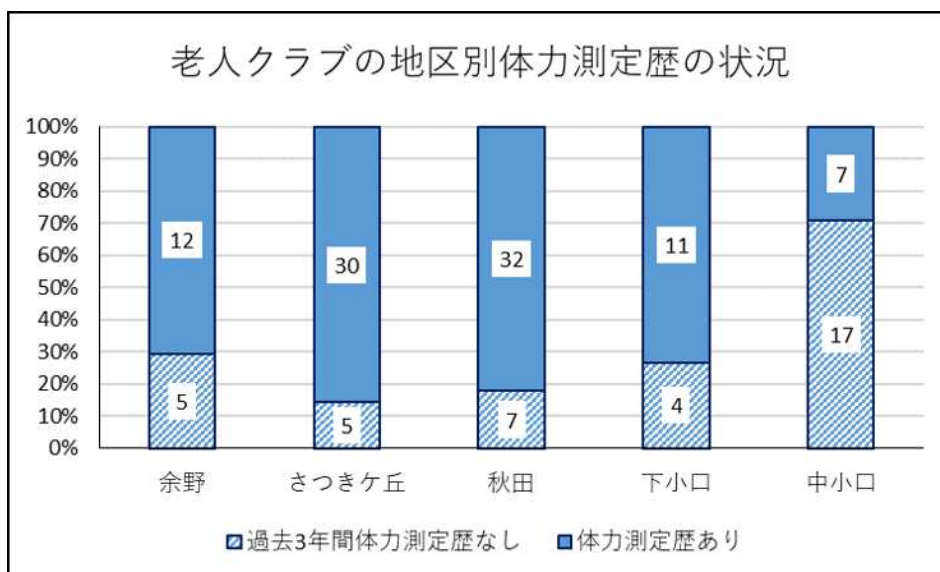
### (1) 2 万人体力測定事業

#### ① 目的

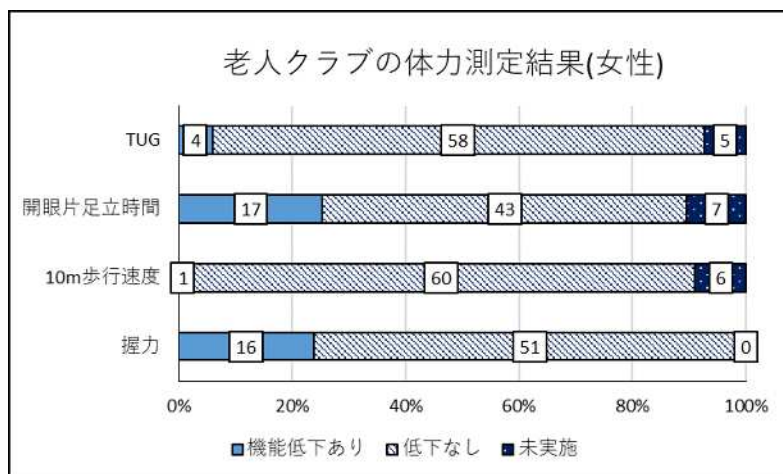
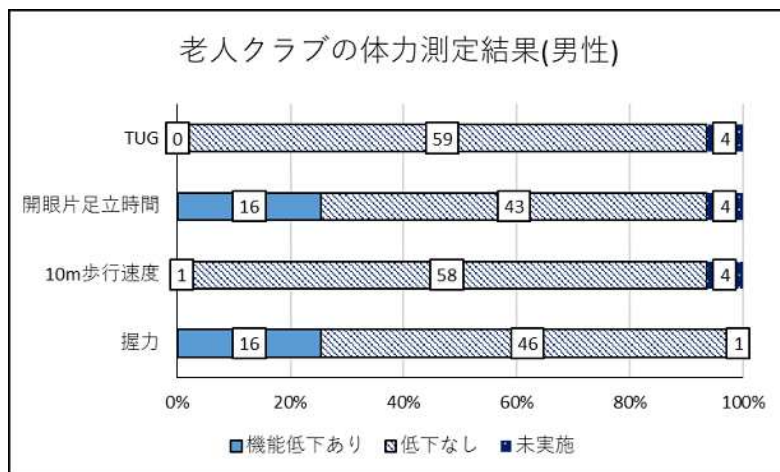
体力測定を行うことで、参加者自らが現状の体力を把握し、健康状態や生活習慣を振り返り、自分に合った運動習慣を身につけるきっかけとする。

#### ② 実施状況

実施日	従事者	対象者	実施者数
5 月 9 日 (水)	ウィル大口スポーツクラブ運動指導員 元気づくりサポーター 保健師 さくら総合病院理学療法士	余野老人クラブ	17 人
5 月 18 日 (金)		さつきヶ丘老人クラブ	35 人
6 月 15 日 (金)		秋田老人クラブ	39 人
6 月 22 日 (金)		下小口老人クラブ	15 人
7 月 26 日 (木)		中小口老人クラブ	24 人
毎月第 2 水曜日	トレーニングセンター	一般町民	8 人
毎月第 2 金曜日	トレーニングセンター運動指導員、 元気づくりサポーター、保健師	BCG 接種児の保護者	87 人
合 計			225 人







### ③ 実施内容

#### ア 大口町2万人体力テスト・測定

\*65歳以上高齢者団体には、大口町2万人体力テスト・測定項目及び愛知県版運動器の機能向上プログラムで推奨する項目から選定した開眼片足立時間、最大歩行速度、Timed Up and Goテスト、握力、10回椅子立ち座りテスト、長座位体前屈の6項目と生活機能チェックリストを行った。

#### イ 結果指導

- ・体力測定結果に基づき個別指導を実施した。
- ・地区の老人クラブで行う体力測定に参加した高齢者に対しては、運動機能の維持向上を図るため事後指導として「いきいき健やか教室」を実施した。(いきいき100歳体操を実施しているさつきヶ丘老人クラブを除く)

#### ● 「いきいき健やか教室」の実施状況

対象者	内容	実施日	講師	被指導者数
余野老人クラブ	筋力トレーニング	5/16~8/8 毎週水曜日 全13回	大学教授、学生	12人 延135人
秋田老人クラブ	筋力トレーニング	6/20~9/6 毎週水曜日 全13回		9人 延97人
下小口老人クラブ	個別指導	6/22(金)	病院理学療法士	8人
中小口老人クラブ	個別指導	7/26(木)		7人
	筋力トレーニング	9/6~11/22 毎週木曜日 全12回	大学教授、学生	17人 延174人

#### ④ まとめ

老人クラブ対象の体力測定は、質問票、測定項目、結果の判定及び指導方法を変更し、高齢者の運動機能の維持向上を目的とした一般介護予防事業として実施した。理学療法士による結果指導では、個人の状態に応じた運動の提供ができた。また、生活機能チェックリストの実施により、介護予防事業対象者の把握と関係機関との連携が図れた。筋力トレーニング教室においては、運動器の機能維持向上とともに地域のつながりの強化や運動意欲の向上も図ることができた。

### (2) おおぐち健康マイレージ事業

#### ① 目的

健康づくりへの動機づけ及び健康な生活習慣の定着を促すため、健診受診や生活習慣など指定の健康づくりに関する事項をポイント化して付与し、インセンティブを設けることで個人が生活習慣改善に取り組む姿勢を支援する。

#### ② 実施期間

平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

#### ③ 実施内容

おおぐち健康マイレージチャレンジシートの配布、あいち健康づくり応援カード「まいか」の発行、事業の周知(町のホームページ、広報、乳幼児健診等)、抽選会開催(11月3日健康まつり)

#### ④ 対象者

18歳以上の町内在住・在勤者

#### ⑤ 実施状況

年代・性別まいか交付数 \*在勤者交付なし

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男	0人	0人	0人	0人	3人	4人	1人	8人
女	0人	0人	4人	2人	2人	3人	10人	21人

#### ⑥ まとめ

抽選会が健康マイレージに取り組むきっかけの場となっている一方、まいかカードの特典に魅力がないといった意見も聞かれた。まいか交付数は、働き盛りの男性や50歳未満の若い年代が特に少ない。町民の参加を増やすために、参加意欲を高める周知及び取組みやすい方法、魅力のある特典を今後準備する必要がある。

### (3) 健康教育

実施日	内 容 (従事者)	対象者	参加人数
11月29日 (木)	調理実習「野菜たっぷり!～血液さらさら健康メニュー～」(管理栄養士)	余野地区住民 (健康推進員地区活動)	23人
1月29日 (火)	調理実習「野菜たっぷり減塩料理!」(管理栄養士)	豊田地区住民 (健康推進員地区活動)	18人
2月6日 (水)	調理実習「食べて元気に!～低栄養予防～」(管理栄養士)	さつきヶ丘地区住民 (健康推進員地区活動)	32人

#### (4) 広報「おおぐち」掲載

広く町民への啓発として広報誌に「みんなですすめる！健康おおぐち2 1 第二次計画」のコーナーを設け、計画の概要や「10年後も元気」でいられるような健康づくりの周知を目的に掲載している。

掲載月	内 容	
6月号	【食生活分野】	食育月間
9月号	【運動・食生活・たばこ分野】	健康増進普及月間、食生活改善普及運動
11月号	【食生活分野・アルコール・糖尿病】	「正しく知ろう！糖尿病」 「11月24日は和食の日」、アルコール関連問題啓発週間

#### (5) 健康まつり

・開催日：平成30年11月3日（土） ・参加者：延べ 2,776人

コーナー名	人数	コーナー名	人数
体力測定（東海学園大学、元気づくりサポーター）	109人	ポールウォーキング・姿勢チェック （ポールウォーキングリーダー）	97人
おおぐち健康マイレージ抽選会 啓発・チャレンジ宣言コーナー	39人	生活習慣病予防コーナー（クイズ・腎臓・糸球体モデル、医療費パネル）	192人
健康相談	4人	歯科相談（歯科衛生士会）	27人
血圧測定	115人	歯のクイズ	219人
体組成測定	150人	禁煙啓発コーナー（肺年齢チェック、肺モデル、禁煙パネル展示）	112人
血管年齢チェック	135人		
ストレス測定	85人	100歳すごろく（尾北医師会）	87人
脳年齢チェック	71人	お薬相談・ちびっこ薬剤師体験（丹羽薬剤師会）	152人
口腔内細菌チェック	70人	認知症クイズ（地域包括支援センター）	202人
足指力測定	75人	アルコール相談（尾北断酒会）	105人
食育コーナー（クイズ、啓発パネル）	72人	脳トレーニング（一期一会荘）	87人
クイズラリー（ゴール到達者）	270人	癒しの抹茶コーナー（高齢者福祉協力員）	301人

#### (6) 地域活動を推進する人材・グループの育成と活動支援

##### ① 元気づくりサポーター活動

ア 活動内容 町が実施する体力測定の協力

イ 活動状況

\*（ ）延人数

活動回数	体力測定対象者	活動場所	活動実人員
5月～7月 5回	老人クラブ会員	各地区集会所	7（16）人
11月3日 1回	健康まつり来場者	健康文化センター	10（10）人
毎月第2金曜日 11回	BCG接種児の保護者	保健センター	16（40）人
合計 17回			19（66）人

## ② ポールウォーキング自主活動

平成 24 年度から啓発してきたポールウォーキングは、ポールウォーキングリーダーと第 9 期健康推進員の協力により、町内 7 地区で自主活動が行われている。自主活動への参加者は自分のポールを購入し、継続した運動として定着している。また、ポールウォーキングを始めた感想としては、歩くのが楽しくなった、腰やひざの痛みを気にせず歩ける、姿勢がよくなったといった意見が多く聞かれ、積極的に外に出られるようになった、自分が明るくなった気がするといった、心の健康に関する感想も多く寄せられた。

	実施日	集合場所	1 回あたりの参加人数
ポールウォーキング 自主活動	毎週水曜日 午前 9 時 30 分～	健康文化センター 1 階ホール	約 30 人
上小口ポールウォーキング	毎週火曜日 午前 9 時 30 分～	上小口学習等供用施設	約 10 人
余野ポールウォーキング	毎週木曜日 午前 8 時 30 分～	余野学習等共同利用施設	約 10 人
ハッピースマップル健康教室	原則第 3 金曜日 午前 9 時 30 分～	大口町健康文化センター 1 階ホール	約 5 人
さつきヶ丘ポールウォーキング	毎週水曜日 午前 9 時～10 時	さつきヶ丘防災センター	約 15 人
外坪ポールウォーキング	毎月第 1 日曜日 午前 8 時～	外坪学習等共同利用施設 (健康推進員主催)	約 10 人
河北ポールウォーキング	毎週火曜日 午後 7 時 30 分～	ラ・モーナ幼稚園正門前 (健康推進員主催)	約 15 人

## ③ ポールウォーキングリーダー定例会（さくらPW定例会）

### ア 目的

一人一人が健康で活力ある地域づくり、町づくりをめざして、ポールウォーキングリーダーとともに町民の方々へのさらなる普及を図るため、事業の計画や意見交換を行う。

### イ 対象

ポールウォーキングリーダー養成講座受講者及び地域でのポールウォーキング自主活動を実施している方

### ウ 実施回数及び場所

定例会 2 回 健康文化センター 1 階 多目的室

### エ 従事者

保健師・看護師・管理栄養士

### オ 内容

事業計画（町民体育祭、健康まつり、桜並木ジョギング大会）と各自主グループ活動の情報交換

### カ 参加状況

参加延べ人数 25 人（実人数 15 人）

#### ④ ポールウォーキングスキルアップ講習会

##### ア 目的

ポールウォーキングの効果や活用法を学ぶことで、自らの健康の維持増進のために継続してポールウォーキングに取り組み、ポールウォーキングを通じた健康づくりを推進する者を養成する。

##### イ 対象

ポールウォーキングに取り組んだことがある方

##### ウ 実施日時・内容・参加者数

実施日	実施時間	内容	参加者数
平成 30 年 5 月 10 日 (木)	9 時 30 分 ～11 時 30 分	ポールウォーキングはなぜ「安定、安心、安全なのか」	36 人
5 月 17 日 (木)		ポールウォーキングをより効果的にするために	36 人
5 月 24 日 (木)		ポールウォーキングをより楽しむために	34 人

##### エ 場所

健康文化センター1階 多目的室

##### オ 講師

健康運動指導士

#### (7) 大口町栄養改善事業「食育担当実務者連絡会議」

住民への栄養改善事業及び食育を円滑にかつ効果的に推進するため、また健康おおぐち21第二次計画の推進のため、各ライフステージの食育を担当する実務者間の交流と連携を図り、それぞれの対象を通して町民の生涯を通した一貫性のある食育の取り組みを目指すことを目的に平成26年度から実施している。

##### ① 実施日時と内容

実施日	内容
第1回 平成 30 年 7 月 19 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月食育月間の取組結果と意見交換 (地産地消給食の実施)</li> <li>・秋の食育連携事業の取組について意見交換</li> <li>・災害時の対応 (非常食) について情報共有</li> </ul>
第2回 平成 30 年 12 月 20 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の食育連携事業テーマの取組結果と意見交換</li> <li>・食育計画について意見交換</li> </ul>
第3回 平成 31 年 3 月 11 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度の食育の取組と現状、課題の情報共有</li> <li>・次年度の食育内容について情報交換</li> <li>・食育計画について意見交換</li> </ul>

##### ② 出席者

健康生きがい課 管理栄養士 1人 戸籍保険課 管理栄養士 1人  
町保育所 管理栄養士 1人  
町立小学校及び中学校の栄養教諭及び学校栄養職員 (県職) 2人  
※第1回のみ町民安全課職員 2人

## (8) 健康おおぐち21 第二次計画中間評価

健康おおぐち21 第二次計画の5年目である平成30年度は、今後の健康づくり体制の充実強化を図るため、また社会情勢の変化に対応するため、中間評価を行った。課内での検討、健康づくり推進協議会における意見交換、関係団体等へのヒアリングやアンケート調査及び学識経験者によるアドバイスをもとに計画を見直した。

### ① 中間評価 実施経過

年月日	事項	内容等
平成30年4～8月	課内検討会	現状把握と課題整理
平成30年6月29日	第1回健康づくり推進協議会	現状の説明、意見交換
9～11月	関係団体等へのヒアリング及びアンケート調査 ・大口町役場各課 ・トレーニングセンター ・ウイル大口スポーツクラブ ・健康づくり団体 ・健康推進員 ・健康づくり推進協議会の委員が属する団体	取り組み状況 課題 今後取り組んでみたいこと
10～12月	課内検討会	評価指標の見直し
12月21日	第2回健康づくり推進協議会	5年間の評価と取組の説明、意見交換
平成31年1～3月	課内検討会	今後の取り組みと方向性の検討
3月22日	第3回健康づくり推進協議会	中間評価の説明、意見交換

### ② 各団体等へのインタビュー・アンケート結果

#### ア 第9期健康推進員

##### a 健康おおぐち21 第二次計画について（重複あり）

・知っている：5地区      ・聞いたことがある：7地区      ・知らない：2地区

##### b 地区活動が健康おおぐち21計画に関係していると思うか

・はい：8地区      ・いいえ：1地区      ・その他：2地区

##### c 地区活動を計画・実施するにあたり困ったことや課題と感じたこと

人集め、前任者からの引継ぎ、区との関係、推進員の存在が理解されていない、地区がまとまるのが難しい、仕事をしながらの活動は負担が大きい

##### d 地区活動について今後取り組みたい又は取り組めるとよかった内容

食生活の話や栄養実習、高齢者の集いの場への参加、ボーリング大会、ラジオ体操、趣味を生かす、グラウンドゴルフ初心者向け、バスウォーク

##### e 区会等他の組織との共催にて地区活動を行うことはあるか      ある：10地区

盆踊り、防災訓練、高齢者関係の行事参加、バス旅行、グラウンドゴルフ、登下校の見守り、体育祭、草取り

イ 健康づくり推進協議会メンバー

	勤労者協議会	保育園 父母の会	P T A	さくらメイト	老人クラブ
会員に対しての健康づくりの取組	安全衛生週間ポスター掲示 運動施設整備 ヘルシーメニューの提供 健康情報提供（毎月季刊誌発行） 福利厚生制度 健診費用の助成（家族含めて） 運動施設の費用補助 健診後の事後指導 脱たばこ運動（禁煙支援分煙） ジェネリック薬品の推進 部対抗マラソン大会	講演会	健康教室 （料理教室） 子どもたちの健康を考 える保健委 員会	サークル活動の 実施 ノス （日本舞踊を基 にした運動） バランスボール	サークル活動 （カラオケ グラ ンドゴルフ） 集いの場（各区に て） 講演会等 （体力測定1年お きに健康の講話を 取り入れている） 女性部：調理実 習） 町保健事業協力
取り組む上での課題	会員が健康づくりに関心がない人が多い	わからない	何をすれば よいか分か らない 新しい取り 組みをする のはなか か難しい	場所がない 時間がない 参加者が一定で ない	経費（経費ができる だけかからないよ うにやりくりして いる） 新規会員の掘り起 こし （会員は入れ替わ りが増えてつある が、「老人クラブ連 合会」というネー ミングで「まだいい と入りたがらない 人もいる） （全国統一のネー ミングで決められ ている）
回答者が健康面で気 になっていること	運動不足 食べすぎ（活動量以上に食 べる）	こころ	たばこ・アル コール	運動	生活習慣病（高血圧 心臓病） 健康管理（人間ドク クで確認）

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">計画の最終年度に向けて 取り組みたいこと</p>	<p>家族の健康にも配慮が必要 (家族が介護状態になると 働けない職員が増える)</p>	<p>わからない</p>	<p>料理教室 保健委員会</p>	<p>バランスボール を利用した健康 管理 まちづくり座談 会の参加</p>	<p>体力測定(全地区に 広げたい) グランドゴルフや 旅行の継続(年2 回)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">さらに必要と思われる内容や気づ いたこと</p>	<p>企業は 65 歳まで元気に働 いてもらうために社員の健 康管理に力を入れている 退職後も再就職に健康かど うかで雇用形態がランク付 けされている 意識はしているが、行動に つながっていない</p>				<p>今やっていること (体力測定など)を できるだけ継続す る (メニューを広げ る・絞るには賛否両 論あるが) 集いの場が広がる とよい</p>

<まとめ>

- ・会員に対しての健康づくりの取組はどの団体も実施している。  
内容：講演会や料理・運動教室等
- ・取り組む上での課題  
働き盛りの年齢層は会員が健康づくりに関心がない人が多い  
何をすればよいか分からない  
新しい取組をするのはなかなか難しい  
場所がない  
高齢者は健康に関心が高く、会員も意欲的に会に参加しているが新規の会員の掘り起こしが課題
- ・回答者自身、健康面で気になることはあり、内容は様々である。  
内容：こころ、運動、タバコ、アルコール、食等
- ・今後も今の活動の継続を予定している。
- ・企業では、社員に元気で 65 歳まで働いてもらうために家族を含めた健康管理に力を入れているが、なかなか行動に結びつかない現状がある。(関心が低い)

<課題>

健康づくりを支援する地域活動の推進を図るためには、団体が健康づくりに関心を持って取り組めるよう、地域の健康実態やニーズにあった情報提供(地域の健康課題や健康づくりに関する情報など)が必要である。単年で役員が交代する団体は、特に新しい取組を取り入れることが難しいため、取り入れやすい方法の検討が必要である。(どんなことならできるか)  
また活動に取り入れるためには、数年単位での計画をしながら進めていくことが必要である。



ウ 健康づくり団体

	ポールリーダー	脱メタボおじ様の会	健康クラブ 笑顔21
自主グループへの参加理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくり（歩きたい）</li> <li>・みんなと一緒にだと楽しい</li> <li>・情報交換ができる</li> <li>・自分にできることを人に伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動・食生活の改善を仲間同士で切磋琢磨</li> <li>・自分の健康状態を確認し、楽しみながら活動している (体組成チェック・料理実習・野菜づくり・米づくり等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの健康の維持</li> <li>・他の人への健康づくりのおすそ分け</li> </ul>
継続するために重要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション</li> <li>・集団ウォーキングが迷惑にならないように声かけ等しながら歩く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番は個人の健康</li> <li>・健康づくりの意識を持っていることが大切</li> <li>・他団体への協力</li> <li>・活動資金を作る</li> <li>・活動の記録と啓発（紹介）</li> </ul>	
困ることや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとしてアドバイスしたいが余計なお節介だと思ふと躊躇する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この団体の継承（引き継ぐこと）はない</li> <li>・体力が続くまで継続予定</li> </ul>	
やってみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人の参加</li> <li>・ポールを活用してのストレッチやレクを教わりたい</li> <li>・ポールを通して（活用して）より交流を広げたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの経験を生かし、自主グループ化の支援や立ち上げへのアドバイスや協力はできる</li> </ul>	

## 6 感染症予防事業

# 1 予防接種

予防接種は、感染症予防のために最も有効な手段の一つである。その目的を果たすためには、予防接種法等関係法令の規定に基づき乳幼児や学童、高齢者に対して安定的に予防接種の機会を提供し、安全で有効な予防接種を実施し、一定の接種率を確保することが重要である。広報・ホームページ等で接種可能な医療機関や接種対象者等を周知し、未接種者には乳幼児健診や個別通知で接種勧奨を行い接種率の向上に努めている。

## (1) 個別接種実施体制

出生届出時に戸籍保険課において、予防接種予診票綴と説明書を交付している。日本脳炎 2 期及び二種混合の予防接種の予診票については、個別通知し接種勧奨している。転入者については保健センターで予診票の交付(差し替え)を行っている。

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種は個別通知し、予診票を送付している。接種希望者は委託医療機関にて一部負担金を支払い接種を受ける。一部負担金について、インフルエンザは 1,200 円、高齢者肺炎球菌は 2,000 円で、町民税非課税世帯は事前申請により一部負担金が免除される。

### ア 予防接種会場

予防接種の種類		接種方法	接種会場
A 類疾病	B 型肝炎	個別接種	尾北医師会管内 (大口町・扶桑町 江南市・犬山市) の委託医療機関 及び 愛知県内の委託 医療機関 ※H28.4.1 から 高齢者の予防接種も 愛知県広域での接種が 可能となった。
	ヒブ		
	小児用肺炎球菌		
	四種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)		
	ポリオ(急性灰白髄炎)：不活化ワクチン		
	水痘		
	MR (麻しん・風しん混合)・麻しん・風しん		
	日本脳炎		
	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		
子宮頸がん			
B 類疾病	高齢者インフルエンザ	個別接種	尾北医師会管内 (大口町・扶桑町 江南市・犬山市) の委託医療機関 及び 愛知県内の委託 医療機関 ※H28.4.1 から 高齢者の予防接種も 愛知県広域での接種が 可能となった。
	高齢者肺炎球菌		
A 類疾病	BCG	集団接種	保健センター

平成 26 年 4 月 1 日から A 類定期 (乳幼児・学童) のみ対象で開始となった愛知県広域予防接種(尾北医師会管内以外の愛知県広域内の委託医療機関での接種が可能)は、平成 28 年 4 月 1 日から B 類定期 (高齢者) も対象に追加された。接種希望者は事前に申請し、連絡票 (高齢者は予診票も必要) を受け取り予約後に接種する。

イ 個別予防接種の種類と期間

B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、ポリオ、水痘、MR、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌予防接種は平成30年4月から平成31年3月まで実施した。高齢者インフルエンザ予防接種は平成30年10月15日から12月31日まで実施した。

(2) 実施状況

(単位：人・%)

A 類疾病		年度接種率	平成30年度			29年度	28年度	27年度
			対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
<b>BCG</b>			251	248	98.8	98.4	99.6	99.2
<b>B型肝炎</b> (H28.10.1～開始)	1回目		236	228	96.6	100.4	78.9	
	2回目		236	226	95.8	103.7	71.7	
	3回目		236	255	108.1	101.7	33.2	
<b>ヒブ</b> (H25.4.1～開始)	1回目		236	226	95.8	101.2	98.8	100.0
	2回目		236	220	93.2	105.4	98.0	102.6
	3回目		236	226	95.8	105.8	98.8	100.0
	4回目		241	249	103.3	106.2	111.0	98.7
<b>小児用肺炎球菌</b> (H25.4.1～開始)	1回目		236	228	96.6	102.1	98.4	100.4
	2回目		236	220	93.2	105.8	98.8	103.5
	3回目		236	226	95.8	106.2	98.8	100.4
	4回目		241	249	103.3	107.1	110.5	98.7
<b>四種混合</b>	第1期初回1回目		236	224	94.9	104.6	99.6	103.1
	第1期初回2回目		236	227	96.2	105.8	100.8	100.0
	第1期初回3回目		236	240	101.7	105.8	98.0	103.9
	第1期追加		241	250	103.7	108.7	114.5	95.0
<b>ポリオ</b> (不活化ワクチン)	第1期初回1回目							
	第1期初回2回目							
	第1期初回3回目							
	第1期追加							
<b>水痘</b> (26.10.1～開始)	1回目		241	245	101.7	103.6	109.6	100.0
	2回目		249	263	105.6	105.9	101.9	111.9
<b>麻しん・風しん混合(MR)</b>	第1期		237	248	104.6	99.2	105.9	99.2
	第2期		235	230	97.9	97.9	97.2	100.0

※百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオは、三種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風）の販売が中止されていたため、四種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）を使用。

(単位：人・%)

A 類疾病		年度	平成 30 年度			29 年度	28 年度	27 年度
			対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
日本脳炎	第 1 期初回 1 回目	262	284	108.4	106.3	100.0	120.5	
	第 1 期初回 2 回目	262	291	111.1	105.2	96.3	122.8	
	第 1 期追加	270	311	115.2	84.3	117.6	123.8	
	第 2 期	266	256	96.2	90.0	95.3	62.3	
二種混合	第 2 期	260	245	94.2	92.2	92.2	92.9	

※日本脳炎の特例対象者

平成 7 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれの者：20 歳未満まで接種可能。

平成 19 年 4 月 2 日～平成 21 年 10 月 1 日生まれの者で第 1 期の予防接種が終了していない者  
：9 歳以上 13 歳未満で接種可能。

(単位：人・%)

A 類疾病		年度	平成 30 年度		29 年度	28 年度	27 年度
			対象者	被接種者	被接種者	被接種者	被接種者
子宮頸がん予防 (ヒトパピローウイルス感染症) ※H25.4.1～定期開始	1 回目	115	0	0	0	1	
	2 回目	115	0	0	0	1	
	3 回目	115	0	0	1	0	

※平成 25 年 6 月から子宮頸がん予防接種の積極的勧奨を差し控えている。

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 30 年度被接種者 (対象者 1,133 人：接種率 54.0%)										29 年度	28 年度
高齢者 肺炎球菌	60 歳以上 65 歳未満	65 歳	70 歳	75 歳	80 歳	85 歳	90 歳	95 歳	100 歳	計	接種率	接種率
		0	129	209	157	69	32	10	5	1	612	50.1

※対象者は、60 歳以上 65 歳未満で基準の障害を有する者及び当該年度 65・70・75・80・85・90・95・100 歳の方で、過去に 23 価肺炎球菌ワクチンを接種していない者。

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 30 年度			29 年度	28 年度	27 年度
	対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
高齢者インフルエンザ	5,465	3,233	59.2	57.4	61.5	61.3

(3) 高齢者肺炎球菌(任意)予防接種費用の助成

平成 23 年 6 月 1 日から下記の対象者に対して、高齢者が肺炎球菌予防接種を受けやすい体制を整備し、肺炎球菌に起因する肺炎の発症及び重症化を予防することを目的に、高齢者肺炎球菌予防接種費用を助成している。

ア 対象者

75 歳以上の高齢者及び 66 歳以上 75 歳未満で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫機能に障害(身体障害者手帳 1 級相当)を有する者。過去に高齢者肺炎球菌を接種した者は除く。高齢者肺炎球菌の定期接種開始に伴い、定期対象者は対象外とする。

イ 助成金額

町民税課税世帯(一部助成) 4,089 円

町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方は(全額助成) 8,089 円

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 助成者区分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
一部助成者数	3	1	14	6
全額助成者数	1	0	0	1

(4) 風しん抗体検査及び風しんワクチン接種費用の助成

平成 25 年 7 月 1 日から、風しんの抗体価が低い妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合の胎児への先天性風しん症候群の発生を予防することを目的として、風しんワクチン接種費用の助成事業を実施している。平成 26 年 4 月 1 日からは、風しん抗体検査費用の一部助成も開始した。

ア 対象者

妊娠を予定又は希望する女性及び、その配偶者又は事実上婚姻関係にある者  
妊娠している女性の配偶者又は事実上婚姻関係にある者

※ただし、風しんワクチン接種費用助成の場合、風しん抗体価が基準値より低く上記の条件に該当する者

イ 助成内容

風しんワクチン接種費用の 1/2 (上限 5,000 円)

風しん抗体検査費用の 1/2(上限 5,000 円)

※ただし、町民税非課税世帯及び生活保護世帯の者は全額助成。

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 内容	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
風しん抗体検査	47	13	11	17
風しんワクチン接種	15	9	6	7
MR ワクチン接種	28	8	19	8

## 2 新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザは、毎年流行を繰り返してきたインフルエンザウイルスとはウイルスの抗原性が大きく異なる新型のウイルスが出現することにより、およそ10年から40年の周期で発生している。ほとんどの人が新型のウイルスに対する免疫を獲得していないため世界的な大流行となり、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響をもたらすことが懸念されている。

平成24年5月に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が制定された。国においては、平成25年6月に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を策定し、愛知県でも同年11月に「愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画」が策定された。大口町においても国・県と同様に新型インフルエンザ等対策を医療体制確保のみならず、社会機能を維持すべき危機事案として捉え、「大口町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。この計画に規定する対策の実効性を確保し、本町が行う業務の優先度に関する基本的な考え方や職員等の感染対策等についてあらかじめ整理し、新型インフルエンザ等発生時においても、大口町がその機能を維持し必要な業務を継続することができるよう、業務の整理等、発生時の業務継続上の基本的事項を定めることを目的として、「大口町業務継続計画」(新型インフルエンザ等編)を平成29年3月に策定した。平成30年度は、4月の機構改革に伴い、各課での修正及び業務の見直しを行い改訂した。また、第1回11月9日と第2回11月13日に愛知県新型インフルエンザ等対策総合机上訓練に併せて、業務継続計画に基づき大口町新型インフルエンザ等対策情報伝達訓練を実施した。

### (1) 大口町業務継続計画(新型インフルエンザ等編)改訂の経過

実施月	内 容
平成30年 10月24日	行政経営会議にて、新型インフルエンザ等対策総合机上訓練についての説明
10月26日	部課長会議にて机上訓練に向けて各課に所属別業務整理表等の修正を依頼
11月9日	第1回目大口町新型インフルエンザ等対策情報伝達訓練実施
11月13日	第2回目大口町新型インフルエンザ等対策情報伝達訓練実施
11月29日	大口町新型インフルエンザ等対策情報伝達訓練実施結果について報告

### (2) 特定接種

新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づく特定接種については、特定接種管理システムにて登録した内容が厚労省にて確認された。

## 7 その他



## 1 学生実習指導

公衆衛生の視点を持った保健師、管理栄養士、看護師を育成するため、地域で行われている公衆衛生看護・栄養活動を学ぶ場として実施している。専門職として多岐にわたる役割の中で、生活の基盤となる公衆衛生の実践を学び、臨床と地域の連携を進めていく上で大切な機会となっている。また学生指導を通して、日々行っている保健活動を改めて見直す機会となっている。

学 校 名	養成課程	実習生数	実習期間
愛知医科大学 看護学部	保健師	2人	平成30年 10月25日～11月16日 (学内実習7日間含む)
名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科	管理栄養士	5人	平成30年6月12日 (10か月児健診)
名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科	管理栄養士	5人	平成30年7月4日 (すくすく子育てサロン、 3歳児健診)

※保健師養成課程の学生は母子保健・成人保健・介護予防・住民と協働で進める健康づくりの取り組みを見学し、また対象者の特徴にあわせた健康教育、地区把握等を学んだ。

※管理栄養士養成施設の学生は、1週間の保健所実習の間に市町村保健センターの見学実習が位置付けられている。

## 2 地域包括ケアシステムの推進

厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。また、「地域包括ケアシステムの構築」のためには、多くの医療職種によって提供される在宅医療と、介護関係職種を加えた多職種による真に包括的なケアのための協働・連携の体制を整えることが必要である。

当町では、平成27年度から尾北医師会の協力を得ながら、この取り組みをすすめてきた。平成29年度からは、地域包括ケアシステムを「地域（まち）づくり」と捉え、持続可能な地域づくりにむけて、地域の強み、弱み、住民ニーズ、地域課題を整理する過程から地域の関係者を巻き込みながら進めていく取り組みをはじめ、平成30年度は、3つの地域自治組織に対して、まちづくり座談会を14回行った。

### 進化する地域包括ケアの植木鉢

**注目点は、本人の選択が重視されるべきとなっている**



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書

平成30年度 大口町地域包括ケアシステム推進に向けた取り組み

会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成31年度
大口町	高齢者サービス調整会議			第1回 8日				第2回 26日					第3回 29日	
	地域包括ケアシステム推進協議会		準備			第1回 10日						第2回 22日		
	住民啓発事業						北地域福祉講座 29日		健康まつり 3日			中地域認知症研修会 21日	さくら大学 1日 南地域福祉講座 3日 福祉講演会 16日	
	高齢者部会		立ち上げに向けて											
	次世代部会		立ち上げに向けて											
	医療・介護専門職部会		立ち上げに向けて							在宅医療・介護連携事業全体会 ① 20日	在宅医療・介護連携事業全体会 ② 31日			
	生活支援体制整備事業	第1期：行政 第2期：社会福祉協議会、まちねっと大口、行政		【生活支援コーディネーター】	まちづくり座談会 Part3 18日、19日、21日	まちづくり座談会 Part4 11日、12日	まちづくり座談会 女性Ver. 13日	まちづくり座談会 Part5 5日 Part6 22日、31日	まちづくり座談会 Part7 5日				講演会 20日 まちづくり座談会 女性Ver. 28日	
	ケアマネ連絡会	11日		13日	合同研修会	8日		10日		12日		合同会議		
	通所系連絡会		15日		17日		18日		15日		施設見学 24日、25日	12日	15日	
	訪問系連絡会	18日		20日		22日		17日		19日				
介護予防推進検討会		第1回 23日			第2回 25日			第3回 24日			第4回 30日			
地域包括ケアシステム連携会議			第1回 28日			第2回 31日			第3回 15日		第4回 17日		第5回 18日	
(尾北医師会地域ケア協力センター)	江南保健所管内地域包括ケアシステム推進連絡会												14日	
	行政部会	第1回 12日		第1回担当者会議 (CM合同) 27日		第2回担当者会議 6日		部長会 4日	第3回担当者会議 12日		第2回 21日		第4回担当者会議 18日	
	情報共有部会(びーよんネット運営協議会)						第1回 4日						第2回 13日	
	住民啓発部会	アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発研修会		第1回 14日		第2回 2日			第3回 22日				出前講座 3日 第4回 6日	
	住民啓発事業												ACP住民講演会 2日	

大口町地域包括ケアシステムの姿

# 『みんなが主役！ ぶつうに暮らしつづけられる しあわせな地域(まち)大口』

高齢者サービス調整会議  
地域包括ケアシステム推進協議会  
地域包括ケアシステム連携会議

在宅医療・介護連携事業全体会

## 医療

びーよんネット ⇒ “大口さくらネット”  
医療・介護関係者の研修  
同職種連携連絡会  
出前講座、ACP（人生会議）住民講演会

訪問看護

## 介護

同職種連携  
・ケアマネ連絡会  
・通所系サービス連絡会・施設見学  
・訪問系サービス連絡会  
⇒ 合同研修会、意見交換会

救急医療  
在宅医療

公営住宅  
特別養護老人ホーム・有料老人ホーム  
サービス付き高齢者向け住宅  
尾張北部権利擁護支援センター  
生活保護

地域資源マップ

## 住まい

地域ケア会議  
認知症初期集中支援チーム

## 生活支援

認知症高齢者徘徊搜索模擬訓練

## 介護予防

## 健康づくり

おたすけ隊  
運転ボランティア養成講

さくら大学、福祉講演会  
福祉講座  
まちづくり座談会  
まちづくり講演会

ふれあいサロン  
いきいき100歳体操等  
老人クラブ活動  
地域自治組織活動  
NPO、ボランティア活動

健康まつり  
体力測定  
介護予防推進検討会  
⇒ (仮)いきがい手帳の作成  
健康推進員活動  
ポールウォーキング自主活動  
歩く健康の集い  
温水プール・トレーニングセンター

健康おおぐち21計画推進

地域包括ケアシステム推進連絡会

職員研修

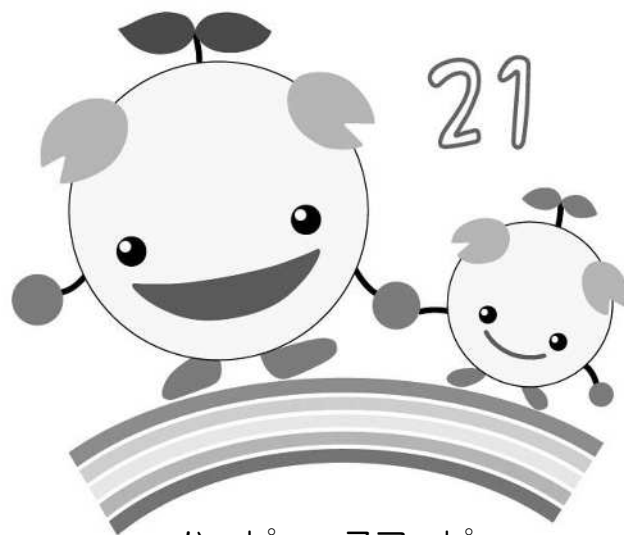
# 保健活動のまとめ

令和元年6月発行

編 集 大 口 町 健 康 福 祉 部 健 康 生 き が い 課  
(大 口 町 保 健 セ ン タ ー)  
丹 羽 郡 大 口 町 伝 右 一 丁 目 35 番 地  
電 話 0587 (94) 0051  
F A X 0587 (94) 0052

発 行 大 口 町

健康おおぐち21 シンボルマーク



ハッピー・スマッピー